



市の鳥 おおばん

～手賀沼のほとり 心輝くまち～

あびこの消防年報

[市民の安全安心を守って]

令和 2 年版

は し が き

————— 手賀沼のほとり 心輝くまち —————

本書は、「水と緑に恵まれたやすらぎのまちあびこ」を守り、市民が暮らし易く住み良い、安全なまちづくりをめざす私達消防が、令和2年中（令和2年1月1日～令和2年12月31日）の消防概況をお知らせするものです。

本書が、広く利用され防災への一助となれば幸いです。

我孫子市消防本部

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号(代表) 04-7184-0119

FAX番号 04-7184-0120

我孫子市の沿革

我孫子と言う地名の起源については、どうしてこのように呼ばれるようになったのか、解らないことがたくさんあるが、「我孫子」は我比古・阿毘古・我孫・吾孫・綱引とも記され、奈良時代以前からの氏姓の名前であった。現在、「あびこ」と呼ぶ地名は、主として関西とその周辺に集中しており、関東地方にある私たちの我孫子市は極めて珍しい存在であると言える。この地がいつ頃から「あびこ」と呼ばれていたかは不明であるが、少なくとも、鎌倉時代の末には、そう呼ばれていた記録があり、古代の「我孫子氏」と関連が考えられる。

我孫子市の歴史は、市内の発掘調査の成果により、今までは約3万年以前の後期旧石器時代までさかのぼることが出来、その後の縄文時代は、約1万年もの長い期間、安定した狩猟採集経済が存続した、市内各地の台地上からは、この頃の人々が暮らした集落や、貝塚が発見されている。

弥生時代の我孫子市はほとんど空白の時代であったが、古墳時代になると、東葛地区最大の水神山古墳が高野山に造られるのをはじめ、多くの古墳が築かれるようになり、権力のある豪族が我孫子周辺を統治していたことがわかる。また、奈良・平安時代になり、全国に律令制がしかれるようになると、我孫子市周辺に「相馬郡」が設置され、郡の役所が日秀に置かれるようになる。また、下総国府（市川市）から常陸国府（石岡市）への通過経路として、当時から交通の要衝であった。

相馬郡は平将門の伝承が残っている。我孫子市にも将門に関する伝説や地名が残っており、一族の平良文、千葉常胤、平忠常らの領地となったことは確かで、この地を伊勢神宮に寄進することで、一族支配を確保しようとした。それ以後この地は相馬御厨（そうまみくりや）と呼ばれるようになった。

戦国時代には原氏や高城氏を介して小田原北条氏に服属し、北条氏の滅亡と共に、徳川氏所領となり、陸前浜街道の宿場として栄えた。

明治期に入ると、明治2年に葛飾県、明治4年に印旛県、明治6年に千葉県へと歴属し、明治11年印旛下植生南相馬郡役所に属し、明治22年に町村制施行、明治29年東葛飾郡所管となった。

昭和29年富勢村の一部を合併し、次いで昭和30年、布佐町、湖北村と合併して、我孫子町となった。昭和45年に市政施行し、我孫子市となり、現在に至る。

歴史的にも伝統的にも利根川、手賀沼と深くかかわる地域であり、かつては農業を主たる産業とする地域であったが、近年は首都近郊都市として発展、変貌を遂げている。

本市は、長い歴史と固有の自然環境を有しており、今後も本市の歴史性という基盤の上に立って、その歴史と伝統を継承し、将来都市像である「手賀沼のほとり 心輝くまち」の実現を目指している。

位置と地勢

我孫子市は、千葉県北西部（東経140度04分・北緯35度52分）に位置し、南の景勝手賀沼、北の雄大な利根川に挟まれた（南北延長4km～6km）細長い蛇状馬背地形（東西延長14km、海拔最高21m）の概ね平坦な土地（面積43.15 k m²）で、第4期古層からなっている。

平坦で肥沃な土地は、豊かな水とみどり、そして良い気候と恵まれた米穀や蔬菜等の栽培に適するとともに、都心からJR常磐線でわずか35分という地理的条件から住宅地として、あるいは手賀沼と利根川の自然がおりなす四季の映り変わりは観光地としても絶好である。

隣接の市町は、南東に印西市、南西から北西には柏市があり、北東は利根川の対岸が茨城県取手市、利根町となっている。



消 防 庁 舎



消 防 本 部 ・ 西 消 防 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1166 我孫子市我孫子 1847-6	m ² 3,292.5	m ² 2,042	鉄筋コンクリート造 (一部鉄骨) 4階建	S 54. 9. 30



西 消 防 署 つ く し 野 分 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1164 我孫子市つくし野 3-21-1	m ² 805.68	m ² 263	鉄筋コンクリート造 平屋	S 53. 6. 21



東 消 防 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1101 我孫子市布佐 1114-3	m ² 2,037.7	m ² 608.948	鉄筋コンクリート造 2階建	S 62. 2. 12



東 消 防 署 湖 北 分 署

所 在 地	敷 地 面 積	延 面 積	建 物 構 造	建 築 年 月 日
〒270-1132 我孫子市湖北台 3-1-2	m ² 825.29	m ² 201.7	鉄筋コンクリート造 平屋	S 45. 5. 1

消防本部・消防署 所在地電話番号

我孫子市消防本部

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号(代表) 04-7184-0119

FAX番号 04-7184-0120

総務課(直通) 04-7181-7700

予防課(直通) 04-7181-7702

警防課(直通) 04-7181-7701

消 防 署 ・ 分 署

◎ 西消防署

〒270-1166

所在地 我孫子市我孫子1847-6

電話番号 04-7184-8673

FAX番号 04-7184-0165

◎ 西消防署つくし野分署

〒270-1164

所在地 我孫子市つくし野3-21-1

電話番号 04-7184-2630

FAX番号 04-7185-8118

◎ 東消防署

〒270-1101

所在地 我孫子市布佐1114-3

電話番号 04-7189-2110

FAX番号 04-7189-5963

◎ 東消防署湖北分署

〒270-1132

所在地 我孫子市湖北台3-1-2

電話番号 04-7188-2217

FAX番号 04-7187-5757

我孫子市消防ダイジェスト（令和2年版）

市勢・消防予算（令和2年4月1日現在）

面積	人口
43.15 km ²	132,002 人
世帯数	消防予算
59,643 世帯	1,742,614 千円



我孫子市マスコットキャラクター
手賀沼のうなぎちゃん

消防施設・職団員・設備状況（令和2年4月1日現在）

署・所等	消防職員	消防車両	消防水利
消防本部 1	実員数 160 人	指揮車 1 台	消火栓 1,321 基 防火水槽 456 基
消防署 2	うち再任用者 1 人	消防ポンプ車 5 台	
分署 2	平均年齢 39.8 歳	化学車 1 台	
消防団器具置場 2 1	(再任用除く)	はしご車 1 台	
消防指令センター (柏市と共同運用) 1	消防団員	救助工作車 1 台	
	実員数 229 人	高規格救急車 5 台	
	平均年齢 40.7 歳	消防団ポンプ車 4 台	
		消防団積載車 17 台	

災害状況（令和2年中）

火災	救急	救助	通報
火災件数 21 件	出場件数 6,092 件	出動件数 62 件	受信件数 7,992 件
死者数 0 人	搬送人員 5,511 人	救助人員 32 人	1日平均 21.9 件
負傷者数 2 人	1日平均 16.7 件		

予防関係

防火対象物	危険物施設	幼年消防クラブ	女性防火クラブ
2,237 施設 (令和2年4月1日現在)	貯蔵所 38 施設 取扱所 27 施設	12 団体 1,246 名 (令和2年12月31日現在)	1 団体 46 名

目次

総務関係

消防機構	1
消防本部事務分掌	2
消防署事務分掌	4
分署事務分掌	5
我孫子市の市勢	6
市勢と消防力の比較	6
市予算と消防予算の比較・人口当たりの額	6
消防力の整備指針との比較	7
消防職員の配置状況	8
消防職員階級別年齢調	8
消防職員勤続年数表	9
消防職員教育訓練状況	9
車両配置状況	10

予防関係

防火対象物数	11
用途別月別建築同意件数	12
防火対象物防火管理状況	13
中高層建物数	14
各種届出状況	15
署別危険物施設数	16
区分別危険物施設数	17
危険物施設等の申請状況	18
幼年女性防火委員会	19
あき地に繁茂した雑草等の除去についての現況	20

火災関係

署別火災発生状況	21
月別火災発生状況	21
年別火災件数及び損害額比較	22
火災出動状況	23
火災種別状況	23
原因別火災発生件数	23
時間別出火件数損害額	24
曜日別火災発生状況	25
四季別火災発生状況	25
月別気象状況	26
年間気象状況	26

警防関係（消防団含む）

各署々管轄区域	27
消防分布図	28
消防団員階級別年齢別数	29

消防団員職業構成	29
消防団員勤続年数	30
消防団員階級別勤続年数	30
消防団員の年報酬及び出動手当	30
消防団車両及び施設等の現況	31
消防水利の現況	32
消防ホース配置状況	32
消防署緊急車両使用状況	33

救急関係

年別救急出場状況	34
年齢区分別傷病程度別搬送人員状況	34
月別救急出場件数及び搬送人員状況	35
署別救急出場件数及び搬送人員状況	36
救急隊員が行った応急処置件数	37
事故種別年齢区分別搬送人員状況	38
事故種別傷病程度別搬送人員状況	38
時間別救急出場件数及び搬送人員状況	39
救急業務累年比較表	40
我孫子市内公共施設AED設置場所	41
我孫子市内ドクターヘリランデブーポイント	41

救助関係

年別救助出動状況	42
月別曜日別救助出動状況	43
時間別救助出動状況	44
事故種別発生場所別出動件数	45
事故種別発生場所別救助人員数	45
救助機械器具等保有状況	46

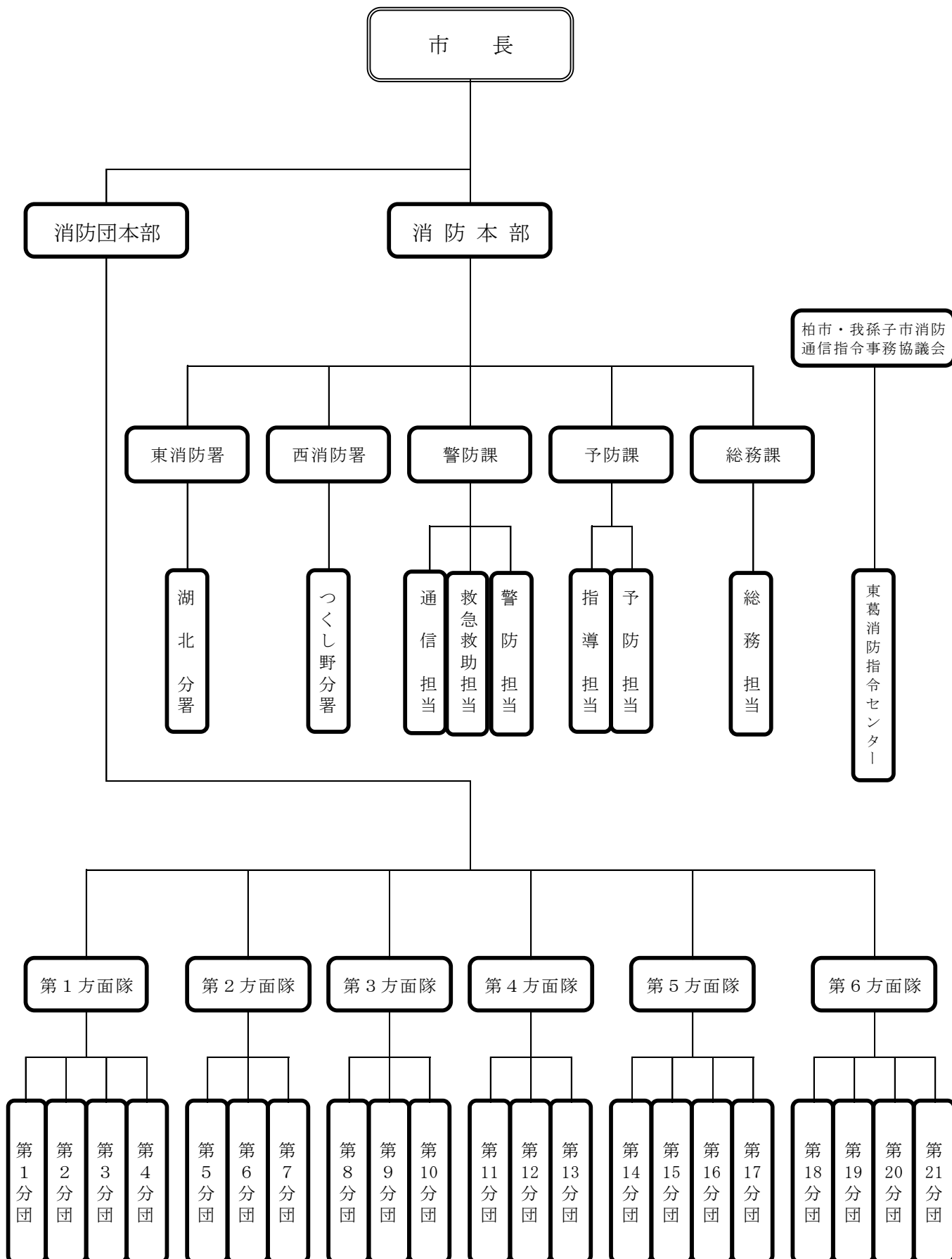
通信指令関係

消防通信系統図	47
東葛消防指令センター施設概要	48
無線局配置状況（デジタル無線・署活動系無線）	50
無線局一覧表（デジタル無線）	51
無線局一覧表（署活動系無線）	52
年別内容別119番等受信回数（過去5年）	53

付表

消防の沿革	54
歴代消防長	60
歴代消防団長	61

消防機構



消防本部事務分掌（令和2年4月1日現在）

総務課

総務担当

- 1 公印に関する事。
- 2 消防職員の任免、分限、懲戒、表彰、服務その他身分に関する事。
- 3 文書の收受、発送、整理及び保存に関する事。
- 4 消防職員の貸与品、福利厚生及び健康管理に関する事。
- 5 消防審議会に関する事。
- 6 消防長会に関する事。
- 7 消防職員委員会に関する事。
- 8 消防職員の教養及び研修に関する事。
- 9 消防職員の公務災害に関する事。
- 10 消防組織、制度及び基本施策の企画に関する事。
- 11 重要施策の総合調整に関する事。
- 12 諸計画の進行管理に関する事。
- 13 消防計画に関する事。
- 14 事務事業の改善及び能率化に関する事。
- 15 儀式及び渉外に関する事。
- 16 消防広報及び広聴に関する事。
- 17 消防統計に関する事。
- 18 情報の公開等に係る受付及び実施に関する事。
- 19 予算及び決算に関する事。
- 20 消防車両等の総合管理及び整備に関する事。
- 21 物品の出納、保管及び財産の維持管理に関する事。
- 22 消防電算業務に関する事。
- 23 消防事務の広域化に関する事。

予防課

予防担当

- 1 火災の予防及び防火思想の啓発に関する事。
- 2 火災の原因及び損害調査に関する事。
- 3 火災証明に関する事。
- 4 火災及び災害統計に関する事。
- 5 危険物の規制に関する事。
- 6 防災協会の指導育成に関する事。
- 7 幼年消防クラブ及び女性防火クラブの指導育成に関する事。

指導担当

- 1 建築確認の同意に関する事。
- 2 消防用設備等の設置及び指導に関する事。
- 3 防火管理に関する事。
- 4 火災予防査察に関する事。
- 5 あき地に繁茂した雑草等の除去に関する事。

警防課

警防担当

- 1 消防職団員の各種消防訓練に関する事。
- 2 災害対策の連絡調整及び防災業務に関する事。
- 3 火災防御の指導に関する事。
- 4 水防に関する事。
- 5 消防水利施設の整備及び管理に関する事。
- 6 警防隊員の安全管理に関する事。
- 7 大規模災害対策及び震災対策に関する事。
- 8 警防業務の研修に関する事。
- 9 火災等警防要綱に関する事。
- 10 消防応援協定に関する事
- 11 緊急消防援助隊に関する事。
- 12 開発行為等に関する消防施設の指導に関する事。
- 13 消防協会に関する事。
- 14 消防団員の任免、分限、懲戒、表彰、服務その他身分に関する事。
- 15 消防団員の貸与品、福利厚生及び健康管理に関する事。
- 16 消防団員の教養及び研修に関する事。
- 17 消防団員の公務災害に関する事。
- 18 消防団施設及び車両等の総合管理及び整備に関する事。
- 19 火災、救急その他災害出動に係る通信の統制に関する事。
- 20 通信施設及び通信機器の維持管理に関する事。
- 21 防災行政無線の運用に関する事。
- 22 気象予報及び水火灾警防の発令に関する事。
- 23 消防通信の技術指導及び訓練に関する事。
- 24 消防救急無線の広域化（デジタル化）及び共同化の整備に関する事。
- 25 共同指令センター（千葉県北西部ブロックに係るものに限る。）の整備に関する事。
- 26 柏市・我孫子市消防通信指令事務協議会（通信指令業務を除く。）に関する事。

救急救助担当

- 1 救急救助業務の計画及び調査に関する事。
- 2 救急業務の証明に関する事。
- 3 救急医療機関等との連絡調整に関する事。
- 4 救急医療情報等に関する事。
- 5 救急救助訓練計画及び指導に関する事。
- 6 救急救助隊員の安全管理に関する事。
- 7 救急救命士に関する事。
- 8 救急啓発の普及に関する事。
- 9 救急救助業務の統計に関する事。
- 10 救助技術の向上に関する事。
- 11 救急救助車両等の総合管理及び整備に関する事。

通信担当

- 1 柏市・我孫子市消防通信指令事務協議会（通信指令業務に限る。）に関する事

消防署事務分掌（令和2年4月1日現在）

総務警防担当

- 1 文書の收受及び保存に関する事。
- 2 署員の勤務配置に関する事。
- 3 署員の教養訓練及び福利厚生に関する事。
- 4 庁舎及び物品の管理に関する事。
- 5 消防署の庶務に関する事。
- 6 警防調査に関する事。
- 7 水火災警報及び防御に関する事。
- 8 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 9 地理及び水利調査に関する事。
- 10 消防団の各種訓練その他の訓練の指導に関する事。
- 11 消防車両の点検及び整備に関する事。
- 12 火災、救急その他災害出動に係る通信の統制に関する事。
- 13 通信施設及び通信機器の維持管理に関する事。
- 14 火災、気象情報その他災害情報の収集及び伝達に関する事。
- 15 防災行政無線の運用に関する事。（西消防署に限る。）
- 16 気象予報及び水火災警報の発令に関する事。
- 17 消防通信の技術指導及び訓練に関する事。

予防担当

- 1 火災予防査察に関する事。
- 2 我孫子市火災予防条例(昭和37年条例第12号)に基づく各種届出の受理及び処理に関する事。
- 3 火災原因及び損害額の調査に関する事。
- 4 雑草等の除去に関する事。

救急救助担当

- 1 救急業務に関する事。
- 2 救急業務の証明に関する事。
- 3 救急医療機関等に関する事。
- 4 救急医療情報等に関する事。
- 5 救急機器及び資器材の整備計画及び維持管理に関する事。
- 6 救助業務に関する事。
- 7 救助資器材の整備及び維持管理に関する事。
- 8 救助技術に係る調整及び研究に関する事。
- 9 救急救助業務の統計に関する事。

分署事務分掌（令和2年4月1日現在）

総務警防担当

- 1 文書の收受及び保存に関する事。
- 2 署員の勤務配置に関する事。
- 3 署員の教養訓練及び福利厚生に関する事。
- 4 庁舎及び物品の管理に関する事。
- 5 消防署の庶務に関する事。
- 6 警防調査に関する事。
- 7 水火災警報及び防御に関する事。
- 8 消防機械器具の保守管理に関する事。
- 9 地理及び水利調査に関する事。
- 10 消防団の各種訓練その他の訓練の指導に関する事。
- 11 消防車両の点検及び整備に関する事。
- 12 火災、救急その他災害出動に係る通信の統制に関する事。
- 13 通信施設及び通信機器の維持管理に関する事。
- 14 火災、気象情報その他災害情報の収集及び伝達に関する事。
- 15 気象予報及び水火災警報の発令に関する事。
- 16 消防通信の技術指導及び訓練に関する事。

予防救急担当

- 1 火災予防査察に関する事。
- 2 我孫子市火災予防条例に基づく各種届出の受理及び処理に関する事。
- 3 火災原因及び損害額の調査に関する事。
- 4 救急業務に関する事。
- 5 救急業務の証明に関する事。
- 6 救急医療機関等に関する事。
- 7 救急医療情報等に関する事。
- 8 救急機器及び資器材の整備計画及び維持管理に関する事。
- 9 救急業務の統計に関する事。
- 10 雑草等の除去に関する事。

我孫子市の市勢

1 我孫子市の人口・世帯数・面積

(令和2年4月1日現在)

人 口	世 帯 数	面 積 (k m ²)
132,002	59,643	43.15

2 市勢と消防力の比較

消防職員1人当たり (実員 160名)			消防団員1人当たり (実員 229名)			消防ポンプ自動車1台当たり (消防団車両含む26台)		
人口	世帯数	面積 (k m ²)	人口	世帯数	面積 (k m ²)	人口	世帯数	面積 (k m ²)
825	373	0.270	576	260	0.188	5,077	2,294	1.660

3 市予算と消防予算の比較・人口当たりの額

年度	市一般予算(当初) (千円)	消防予算(当初) (千円)	市一般予算と消防予算の割合 (%)	市民一人当たりの消防費 負担額 (円)
12年	30,304,000	1,457,361	4.8	11,335
13年	30,890,000	1,470,692	4.8	11,370
14年	29,910,000	1,528,857	5.1	11,803
15年	29,630,000	1,525,788	5.1	11,537
16年	35,072,000	1,494,299	4.3	11,262
17年	30,634,000	1,510,287	4.9	11,372
18年	30,571,000	1,532,006	5.0	11,491
19年	31,452,000	1,504,798	4.8	11,145
20年	31,310,000	1,533,341	4.9	11,270
21年	31,920,000	1,740,308	5.5	12,780
22年	32,460,000	1,565,113	4.8	11,491
23年	34,330,000	1,772,627	5.2	13,076
24年	34,960,000	1,734,547	5.0	12,918
25年	36,380,000	1,540,408	4.2	11,516
26年	36,500,000	1,568,402	4.3	11,765
27年	38,500,000	1,566,309	4.1	11,773
28年	39,280,000	1,641,815	4.2	12,438
29年	37,660,000	1,639,827	4.4	12,423
30年	38,220,000	1,942,649	5.1	14,717
31年	37,960,000	1,689,736	4.5	12,801
令和2年	41,250,000	1,742,614	4.2	13,201

消防力の整備指針との比較

1 消防装備基準比較

(令和2年4月1日現在)

区分 車両	消防力の 整備指針 基準台数	現有台数	不足台数	充足率(%)
指揮車	1	1		100.0
消防ポンプ自動車	6	5	1	83.3
救急車	6	5	1	83.3
梯子車	2	1	1	50.0
化学車	1	1		100.0
工作車	2	1	1	50.0

消防力の整備指針とは、市町村が目標とすべき消防力の整備水準を示すものです。

市町村は、その保有する消防力の水準を総点検した上で、この指針の定める施設及び人員を目標として、その地域の実情に即した適切な消防体制を整備することが求められています。

2 現有台数に対する基準人員数と消防職員数の比較

(令和2年4月1日現在)

区分 担当別	基準数	現有職員数	不足数	充足率(%)
指揮隊員	9	8	1	88.9
消防隊員	76	59	17	77.6
救急隊員	38	38		100.0
救助隊員	32	22	10	68.8
予防要員	11	7	4	63.6
通信員	7	7		100.0
庶務処理等に必要人員	18	19	△1	105.6
計	191	160	31	83.8

3 消防職員実員累年比較

(令和2年4月1日現在)

階級 年度	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
22	1	8	54	18	31	15	18		145
23	1	8	52	22	29	17	17		146
24	1	8	46	25	30	15	23		148
25	1	8	41	29	30	15	24		148
26	1	8	39	34	29	15	24		150
27	1	9	37	36	27	16	26		152
28	1	9	37	37	27	17	27		155
29	1	9	38	36	29	20	23		156
30	1	11	36	35	31	22	20		156
31	1	11	37	37	30	19	23		158
令和2	1	11	38	34	28	23	25		160

消防職員の配置状況

(令和2年4月1日現在)

階級 所属		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
		消防本部	消防長	1						
次長			2							2
総務課			1 (1)	2	1	1				5
予防課			1	2	1	3				7
警防課			2	7	4	2				15
西消防署			2 (1)	8	14	9	13	12		58
つくし野分署			1	8	3	4	3	5		24
東消防署			1	6	6	3	4	5		25
湖北分署			1	5	5	6	3	3		23
計		1	11	38	34	28	23	25		160

※ () は次長が総務課長・西消防署長を兼務

消防職員階級別年齢調

(令和2年4月1日現在)

階級 年齢		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他	計
		25歳未満						2	18	
25歳～30歳未満						13	6			19
30歳～35歳未満						15	8	1		24
35歳～40歳未満						9				9
40歳～45歳未満					19	3				22
45歳～50歳未満				9	15					24
50歳～55歳未満				16						16
55歳～60歳	1	11	13							25
再任用						1				1
計	1	11	38	34	28	23	25			160
最高年齢	58	59	59	48	41	30	34			
最低年齢	58	56	45	40	30	23	18			

※ 再任用は年齢から除きます。

消防職員勤続年数表

(令和2年4月1日現在)

年数 区分	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
	消防職員 (再任用含)	26	26	17	15	23	11	14	

消防職員教育訓練状況

(令和3年3月31日現在)

区分		期名	期間	受講人員(人)
県消防学校	初任科	第170期	111日	8
	救急科	第47期	41日	2
	救助科	第49期	23日	1
	はしご自動車等講習会	第31回	4日	2
救急救命士研修所等	救急救命士新規養成課程研修	第59期	126日	1
	救命士病院研修		4日	17
	救命士就業前病院研修		20日	3

車 両 配 置 状 況

(令和2年4月1日現在)

配置場所	車 両 名	登 録 番 号	配置年月日	車 種		装 備 等
消防本部	指令1号車	柏800さ2468	H29. 1	トヨタ	ハイエース	火災予防指導車
	指令2号車	野800さ6909	H16. 8	日産	バネット	火災予防指導車
	消防長車	柏334つ358	H29. 8	トヨタ	アルファード	リース車両
	連絡車	柏500す6926	H20. 6	日産	セレナ	
	連絡車	柏500せ7939	H21. 10	日産	セレナ	
	連絡車	柏480い・789	H23. 3	三菱	ミニキャブバン	
	連絡車	柏500た6832	H24. 6	日産	マーチ	
	連絡車	柏500と6737	H31. 1	日産	マーチ	
	連絡車	柏400さ8543	H29. 6	トヨタ	プロボックス	
	マイクロバス	野田200さ・306	H17. 8	日産	シビリアン	
指令センター	連絡車	柏500ち3163	H25. 5	日産	マーチ	
西消防署	西署水槽1号車	野800さ5137	H15. 1	日野	レンジャー	水槽1500ℓ
	西署化学1号車	柏800は・・86	H25. 2	日野	レンジャー	水1300ℓ薬液500ℓ積載
	西署梯子1号車	柏830さ1903	H31. 3	日野		伸梯37m
	西署救助1号車	柏800は・・77	H24. 1	日野	レンジャー	照明装置、クレーン
	西署救急1号車	柏800さ1827	H26. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	西署救急2号車	柏800さ2278	H28. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	西署救急3号車(予備車)	柏830さ1902	H19. 2	トヨタ	ハイメディック	高規格救急自動車
	我孫子指揮1号車	柏800さ1085	H22. 10	日産	キャラバン	災害現場指揮車
	西署ボートトレーラ	柏830さ2003	R 2. 3	ソレックス		
	西署救助1号艇	第232 -40311号	H21. 7	アキレス	HB-420	船外機30ps
	西署救助2号艇	第232 -41682号	H24. 2	アキレス	FRB-104	船外機10ps
	西署資材1号車	野800さ8316	H18. 6	日産	アトラス	資機材搬送車
	西署資材2号車	柏800さ1294	H23. 9	いすゞ	エルフ	資機材搬送車
	西署貨物自動車	野40 あ9015	H11. 3	ダイハツ	ハイゼット	
つくし野分署	つくし野水槽1号車	柏800さ1201	H23. 2	日野	デュトロ	水槽600ℓ
	つくし野水槽2号車	野800さ2853	H13. 2	日野	レンジャー	水槽1500ℓ(予備車)
	つくし野救急1号車	柏830さ1901	H30. 12	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	つくし野指令1号車	柏880あ・407	H30. 10	日産	NV100 クリッパー	火災予防指導車
東消防署	東署指令1号車	柏830さ1911	R 1. 11	日産	エクストレイル	火災予防指導車
	東署水槽1号車	柏800さ2690	H30. 2	日野	デュトロ	水槽1300ℓ
	東署水槽2号車	野800さ7912	H17. 12	日野	レンジャー	水槽1500ℓ
	東署救急1号車	柏800さ1377	H24. 3	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	つくし野2号車	習80 あ・356	H4. 1	スバル	サンバー	可搬ポンプ積載
	東署貨物車	野400せ2236	H16. 12	日産	バネット	
	東署ボートトレーラ	柏830す1911	R 1. 11	ソレックス		
	東署救助艇	第230 -39680号	H17. 4	アキレス	HB-385	船外機30ps
湖北分署	湖北水槽1号車	野800さ6266	H15. 12	日野	レンジャー	水槽1500ℓ
	湖北救急1号車	柏800さ2467	H29. 1	日産	パラメディック	高規格救急自動車
	湖北指令1号車	柏880あ270	H26. 11	日産	NV100 クリッパー	火災予防指導車

※車両名中の網掛けは緊急車両登録車を示す。

防火対象物数

(令和2年12月31日現在)

令別表 第1項目	用途別	署別				計	
		西消防署	つくし野 分署	東消防署	湖北分署		
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場				1	1
	ロ	公会堂又は集会場	9	11	6	7	33
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場又はダンスホール	4			1	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ	カラオケボックス等	1	1			2
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの					
	ロ	飲食店	17	15		6	38
(4)		百貨店、マーケット等	53	19	18	16	106
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	3		2		5
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	495	308	96	223	1,122
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	16	13	4	5	38
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	16	7	21	13	57
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)	16	10	14	17	57
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	3	4	5	12	24
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	38	35	11	22	106
(8)		図書館、博物館、美術館等	2				2
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場	1	1	1	1	4
(11)		神社、寺院、教会等	3	8	3	4	18
(12)	イ	工場又は作業場	10	7	7	6	30
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	5	9		2	16
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
(14)		倉庫	6	9	11	7	33
(15)		前各項に該当しない事業所	104	36	31	23	194
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	118	69	19	23	229
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	63	30	5	6	104
(16の2)		地下街					
(16の3)		準地下街					
(17)		重要文化財等に認定された建造物	7		6		13
(18)		延長50メートル以上のアーケード					
(19)		市町村長の指定する山林					
(20)		総務省令で定める舟車					
合 計			990	592	260	395	2,237

用途別月別建築同意件数

(令和2年12月31日現在)

令別表 第1項目	別 用途別	月												計	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場													
	ロ	公会堂又は集会場													
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等													
	ロ	遊技場又はダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等													
	ニ	カラオケボックス等													
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの													
	ロ	飲食店			1										1
(4)		百貨店、マーケット等											1		1
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等													
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅						1		1	2	1		1	6
(6)	イ	病院・診療所又は助産所													
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)													
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)		1	2		2								5
	ニ	幼稚園又は特別支援学校		1											1
(7)		小・中学校、高等学校、大学等													
(8)		図書館、博物館、美術館等													
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等													
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場													
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場													
(11)		神社、寺院、教会等													
(12)	イ	工場又は作業場									1				1
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ													
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場			1										1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫													
(14)		倉庫			1	1		1	1				1		5
(15)		前各項に該当しない事業所			1	2			1				1		5
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)										1		1	2
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)													
(16の2)		地下街													
(16の3)		準地下街													
(17)		重要文化財等に認定された建造物									1				1
(18)		延長50メートル以上のアーケード													
(19)		市町村長の指定する山林													
(20)		総務省令で定める舟車													
専用住宅等			1	9		1	1	2	1	2	1		2	4	24
合 計			1	11	6	4	3	4	3	3	5	2	5	6	53

防火対象物防火管理状況

(令和2年12月31日現在)

令別表 第1項目	種別 用途別	甲種防火対象物			乙種防火対象物		
		防火管理者 を必要とする 防火対象物	防火管理者 選任状況	消防計画書 届出状況	防火管理者 を必要とする 防火対象物	防火管理者 選任状況	消防計画書 届出状況
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場	1	1	1		
	ロ	公会堂又は集会場	16	15	14	7	6
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等					
	ロ	遊技場又はダンスホール	4	3	3		
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等					
	ニ	カラオケボックス等	2	2	1		
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの					
	ロ	飲食店	17	16	14	16	15
(4)		百貨店、マーケット等	59	48	47	22	13
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等	4	3	3		
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	130	112	100	1	1
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	12	12	11		
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	38	35	35		
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)	26	26	24	2	1
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	12	12	12		
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	28	28	28		
(8)		図書館、博物館、美術館等	1	1	1		
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等					
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場					
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場					
(11)		神社、寺院、教会等	3	2	1	4	4
(12)	イ	工場又は作業場	3	3	2		
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ					
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場					
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫					
(14)		倉庫	1	1	1		
(15)		前各項に該当しない事業所	31	31	30	8	5
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	133	93	65	20	15
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	18	7	7	2	1
(16の2)		地下街					
(16の3)		準地下街					
(17)		重要文化財等に認定された建造物	1	1	1		
(18)		延長50メートル以上のアーケード					
(19)		市町村長の指定する山林					
(20)		総務省令で定める舟車					
合 計			540	452	401	82	61

中高層建物数

(令和2年12月31日現在)

令別表 第1項目	用途別	階 数														計
		4階	5階	6階	7階	8階	9階	10階	11階	12階	13階	14階	15階			
(1)	イ	劇場、映画館、演芸場又は観覧場														
	ロ	公会堂又は集会場														
(2)	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等														
	ロ	遊技場又はダンスホール	1													1
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
	ニ	カラオケボックス等														
(3)	イ	待合・料理店その他これらに類するもの														
	ロ	飲食店	1													1
(4)		百貨店、マーケット等		1												1
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所等						1								1
	ロ	寄宿舎、下宿又は共同住宅	73	142	23	17	20	8	10	2	3	3	4	6	311	
(6)	イ	病院・診療所又は助産所	2	1	2	1										6
	ロ	社会福祉施設(入居・入所施設等)	5	3												8
	ハ	社会福祉施設(通所施設等)														
	ニ	幼稚園又は特別支援学校	2													2
(7)		小・中学校、高等学校、大学等	30	1	1		1	1		1						35
(8)		図書館、博物館、美術館等														
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場等														
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場														
(10)		車両の停車場又は船舶等の発着場														
(11)		神社、寺院、教会等														
(12)	イ	工場又は作業場	2													2
	ロ	映画スタジオ又はテレビスタジオ														
(13)	イ	自動車車庫又は駐車場	1	1												2
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫														
(14)		倉庫														
(15)		前各項に該当しない事業所	21	4		2										27
(16)	イ	複合用途防火対象物(特定用途)	36	31	18	12	3	2		2	1					105
	ロ	複合用途防火対象物(非特定用途)	17	10	8	4	1									40
(16の2)		地下街														
(16の3)		準地下街														
(17)		重要文化財等に認定された建造物														
(18)		延長50メートル以上のアーケード														
(19)		市町村長の指定する山林														
(20)		総務省令で定める舟車														
合計			191	194	52	36	26	11	10	5	4	3	4	6	542	

各種届出状況

(令和2年12月31日現在)

	内 容	件 数
1	防火管理者選任又は解任届	174
2	消防計画作成又は変更届	200
3	圧縮アセチレンガス等の貯蔵又は取扱いの開始(廃止)届	17
4	危険物保安監督者選任又は解任届	5
5	消防用設備等点検結果報告書	779
6	り災証明願	10
7	消防用設備等設置届	135
8	消防用設備等着工届	45
9	防火対象物使用開始届	82
10	炉・厨房設備・ボイラー・火花を生ずる設備等の届	2
11	発電・変電・蓄電池設備設置届	16
12	火災とまぎらわしい煙又は火炎を発生するおそれのある行為の届	47
13	煙火打ち上げ・仕掛け届	3
14	催物開催届	3
15	水道断水・減水届	0
16	道路工事届	125
17	露店等の開設届	6
18	少量危険物・指定可燃物貯蔵又は取扱い・廃止の届	6
19	禁止行為解除承認申請書	18
20	自衛消防訓練通知書	451
21	防火対象物点検結果報告書	33
合 計		2,157

署別危険物施設数

(令和2年12月31日現在)

区分 署名	貯蔵所							取扱所				合計	
	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所		小計
西消防署	6	1		8				15	5	7		12	27
つくし野分署	2			2		1		5	5	2		7	12
東消防署	1		1	5		5		12	2	2		4	16
湖北分署	1	1		4				6	2	2		4	10
合計	10	2	1	19		6		38	14	13		27	65

区分別危険物施設数

(令和2年12月31日現在)

製造所等の別 区分	製造所	貯蔵所							取扱所				計		
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	一般取扱所	販売取扱所		小計	
5倍以下		6	1	1	13		6		27	1	4		5	32	
5倍を越え 10倍以下		4	1		2				7	1	7		8	15	
10倍を越え 50倍以下					1				1	3	2		5	6	
50倍を越え 100倍以下					3				3					3	
100倍を越え 150倍以下										1			1	1	
150倍を越え 200倍以下										1			1	1	
200倍を越え 1,000倍以下										7			7	7	
1,000倍を 越えるもの															
計		10	2	1	19		6		38	14	13		27	65	
種別	第1類														
	第2類														
	第3類														
	第4類		10	2	1	19		6		38	14	13		27	65
	第5類														
	第6類														
	混在														

危険物施設等の申請状況

(令和2年12月31日現在)

区分 製造所の別	許可					完成検査				仮 使用	計
	設 置	変 更	転 出	他 行 政 庁	転 入	他 行 政 庁	設 置	変 更	転 入		
製 造 所											
屋 内 貯 蔵 所											
屋外タンク貯蔵所											
屋内タンク貯蔵所											
地下タンク貯蔵所						1					1
簡易タンク貯蔵所											
移動タンク貯蔵所	1					1					2
屋 外 貯 蔵 所											
給 油 取 扱 所		2					2			2	6
販 売 取 扱 所											
一 般 取 扱 所											
計	1	2				2	2			2	9

完成検査前検査（水圧）申請	
完成検査前検査（水張）申請	
仮貯蔵・仮取扱承認申請	1

幼年女性防火委員会

委員会は我孫子市民で構成する幼年消防クラブ及び女性防火クラブの育成を図り、もって火災予防思想の高揚と防災体制の充実に資するとともに、地域住民の安全を確保することを目的としている。

委員の構成(8名)

(令和2年12月31日現在)

会 長	1	副会長	2	委 員	5
-----	---	-----	---	-----	---

幼年消防クラブの目的

火災の原因の中で子供の火遊びによる火災が依然として多いことから、幼年期において正しい火の取扱いに対する「しつけ」をするとともに、消防の仕事をよく理解させることにより火遊び等による火災の減少を図ろうとするものです。

女性防火クラブの目的

建物火災のうち約半数が一般住宅火災であることから、家庭における実質の火気取扱責任者である婦人が、火災予防の知識を習得し、火を使用する器具等を火災予防上安全に使用できるようにするとともに、消火器等初期消火器具の使い方、通報連絡、避難等の行動的知識を習熟することにより、一般住宅等の火災を防止し、あわせて地域の隣保協力体制と連帯意識の高揚を図り、平和な家庭づくり安全な地域社会づくりを目指すことにあります。

幼年消防・女性防火クラブ結成状況

(令和2年12月31日現在)

幼年消防クラブ		女性防火クラブ	
クラブ数	クラブ員数	クラブ数	クラブ員数
12	1246	1	46

あき地に繁茂した雑草等の除去についての現況

(令和2年12月31日現在)

	西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	計
該当地(件)	136	100	252	116	604
該当地面積(㎡)	36,875.07	38,200.80	66,365.37	26,247.64	167,688.88
刈取済件数(件)	118	76	238	105	537
刈取済面積(㎡)	33,523.89	20,823.80	63,289.46	24,028.18	141,665.33
未処理件数(件)	18	24	14	11	67
未処理面積(㎡)	3,351.18	17,377.00	3,075.91	2,219.46	26,023.55
刈取済件数割合	86.8%	76.0%	94.4%	90.5%	88.9%
刈取済面積割合	90.9%	54.5%	95.4%	91.5%	84.5%

署別火災発生状況

(令和2年12月31日現在)

区分 署	火災件数						損害額 (単位：千円)							
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他	計
西消防署	7		2			1	10	432		114			14	560
つくし野分署			1			3	4			280			13	293
東消防署	1		1				2							-
湖北分署	3					2	5	13,993					220	14,213
計	11		4			6	21	14,425		394			247	15,066

月別火災発生状況

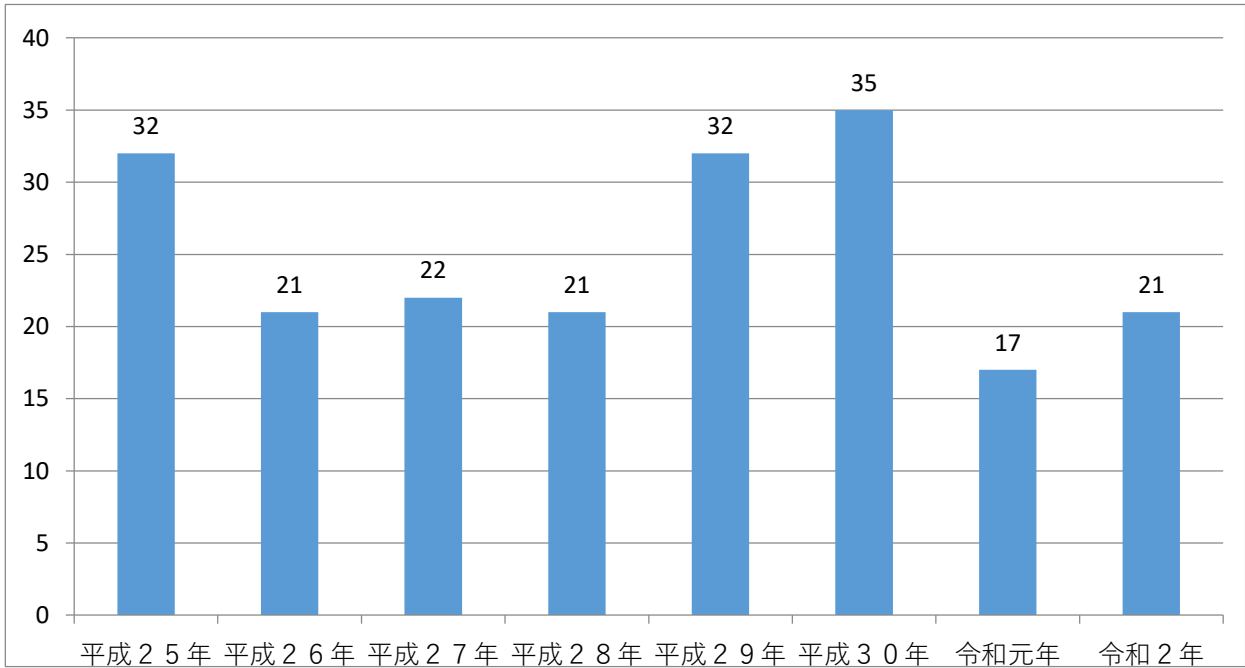
(令和2年12月31日現在)

区分 月別	種 別						建 物 火 災				死傷者		焼損面積		損害額(単位:千円)					
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	焼 損 棟 数			り 災 世 帯	り 災 人 員	死 者	負 傷 者	建 物 床/表 (㎡)	山 林 原 野 (a)	建 物	車 両	そ の 他	計
								住 宅												
								全 焼	半 焼	部 分 焼										
1																				
2	1					1	2			1	1	2				143				143
3																				
4	2					1	3	1	1	1	3	5		2	91		9,446			9,446
5	1						1			1										
6	1		1				2			1	1	2		1		11	114			125
7	2						2			2	1	1								
8	1				2		3			1	1	4		1		3			233	236
9																				
10	1		1				3			1									14	14
11	1		1				2	1	1					270		4,821	280			5,101
12	1		1				3			1	1	2		1		1				1
計	11		4			6	21	2	1	9	8	16		2	364		14,425	394	247	15,066

年別火災件数及び損害額比較

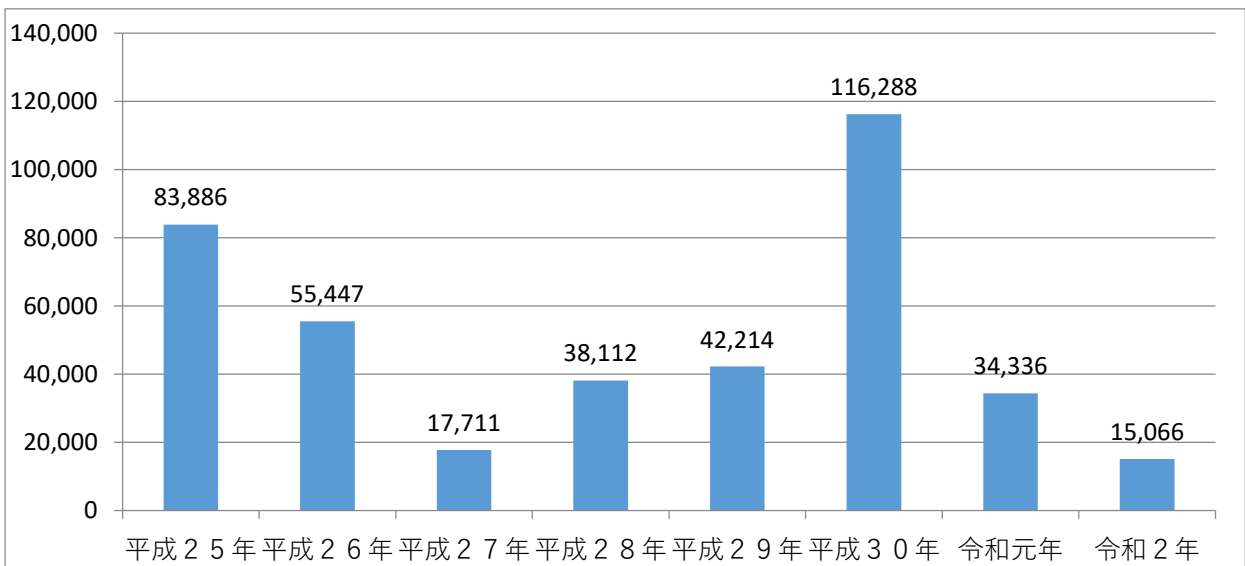
火 災 件 数

(令和2年12月31日現在)



損 害 額

(令和2年12月31日現在) 単位：千円



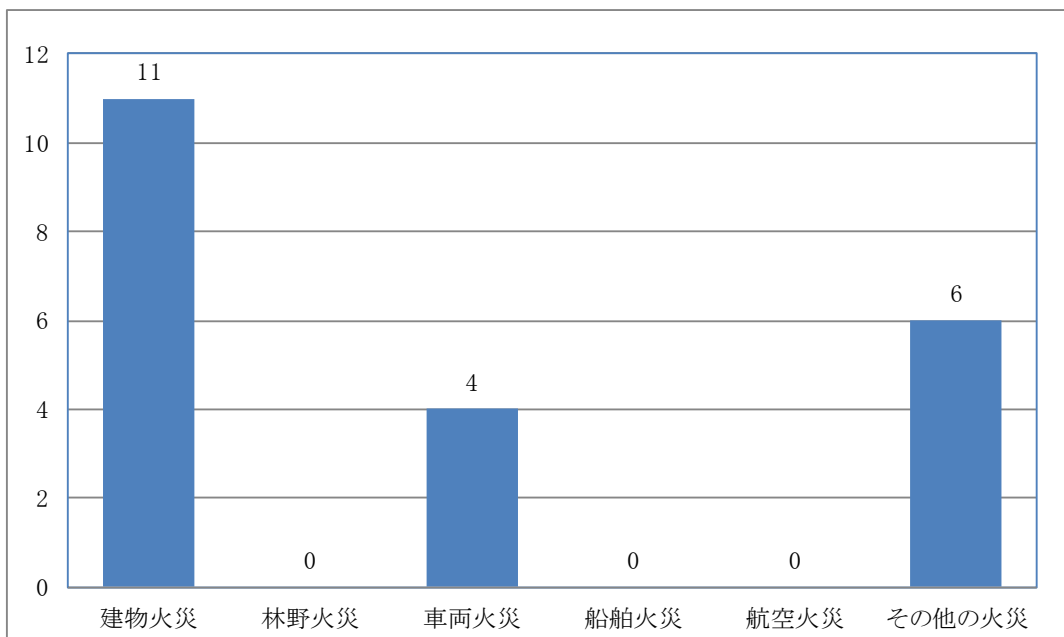
火災出動状況

(令和2年12月31日現在)

種別	月別												計	
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
火災件数		2		3	1	2	2	3		3	2	3	21	
出動ポンプ台数 (放水)	署		1		7		2				7	2	19	
	団										2		2	
出動延人員	署		39		44	5	26	34	24		73	43	13	301
	団				24						29		53	

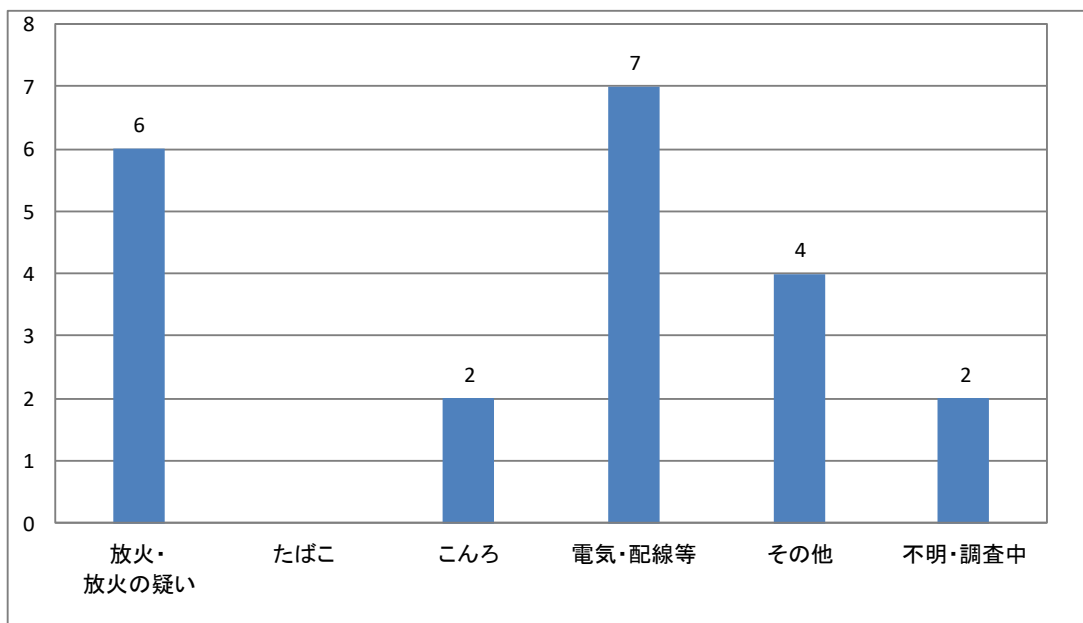
火災種別状況

(令和2年12月31日現在)



原因別火災発生件数

(令和2年12月31日現在)



時間別出火件数損害額

(令和2年12月31日現在)

区分 時間	火災件数							損害額 (単位：千円)						
	建物 火災	林野 火災	車両 火災	船舶 火災	航空 火災	その 他の 火災	計	建 物	林 野	車 両	船 舶	航 空	その 他	計
0～1時														
1～2時						2	2						13	13
2～3時	1						1	143						143
3～4時														
4～5時														
5～6時														
6～7時	1					1	2	278					220	498
7～8時	1		1				2							
8～9時														
9～10時														
10～11時	1						1	1						1
11～12時														
12～13時			1				1			280				280
13～14時	2		1				3	4,821						4,821
14～15時	1						1							
15～16時	1						1	11						11
16～17時														
17～18時						1	1							
18～19時														
19～20時						1	1						14	14
20～21時	1						1	1						1
21～22時														
22～23時	1						1							
23～24時	1		1			1	3	9,170		114				9,284
不 明														
計	11		4			6	21	14,425		394			247	15,066

曜日別火災発生状況

(令和2年12月31日現在)

区分 曜日	火災件数							損害額 (単位：千円)						
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物	林野	車両	船舶	航空	その他	計
日	1					1	2	9,170						9,170
月			1			1	2			280				280
火	2					2	4	4,966					233	5,199
水	2		1			1	4	277					14	291
木	2						2							
金	3		2			1	6	11		114				125
土	1						1	1						1
不明														
計	11		4			6	21	14,425		394			247	15,066

四季別火災発生状況

(令和2年12月31日現在)

区分 時間	火災件数							損害状況							
	建物火災	林野火災	車両火災	船舶火災	航空火災	その他の火災	計	建物		林野		車両	船舶	航空	その他
								焼損面積 (m^2)	損害額 (千円)	焼損面積 (a)	損害額 (千円)	損害額 (千円)	損害額 (千円)	損害額 (千円)	損害額 (千円)
春 3月～5月	3					1	4	91	9,446						
夏 6月～8月	4		1			2	7	2	14			114			233
秋 9月～11月	2		2			1	5	270	4,821			280			14
冬 12月～2月	2		1			2	5	1	144						
不明															
計	11		4			6	21	364	14,425			394			247

月別気象状況

(令和2年12月31日現在)

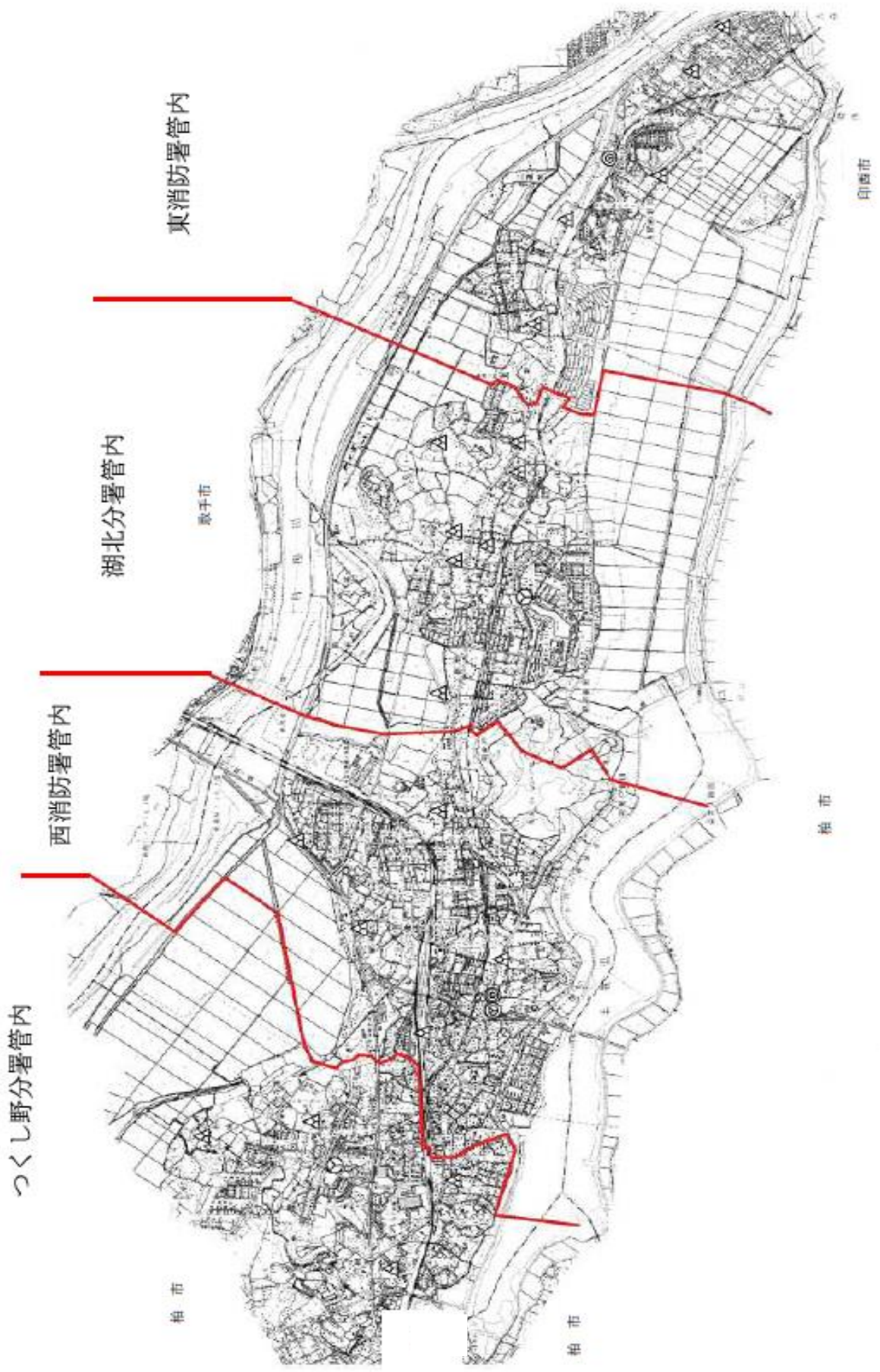
種別 月別	平均風速 (m/s)	最多風向 (方位)	最大瞬間			平均気温 (℃)	湿度		気圧		雨量	
			風速 (m/s)	風向 (方位)	起時 (日・時間)		平均相対 (%)	平均実効 (%)	平均現地 (hPa)	平均海面 (hPa)	月積算 (mm)	年積算 (mm)
1	2.4	北西	26.2	西北西	09.06:36	6.0	67.7	67.4	1013.1	1017.0	76.0	76.0
2	2.7	北西	22.3	南南西	22.13:51	6.7	60.2	59.7	1015.0	1018.9	18.0	94.0
3	3.4	北北西	25.8	西	05.11:36	9.5	68.4	68.1	1010.3	1014.1	80.0	174.0
4	3.8	南	30.3	北北東	13.13:57	11.9	67.4	67.6	1009.1	1013.0	126.5	300.5
5	3.4	南	21.3	南	10.16:41	18.8	77.4	77.4	1007.8	1011.5	72.5	373.0
6	3.2	南	25.2	南南西	11.12:18	22.4	84.5	84.0	1004.1	1007.8	146.0	519.0
7	3.8	南	24.4	南南西	08.09:47	23.5	91.1	91.1	1005.6	1009.3	135.5	654.5
8	2.8	南	14.4	南南西	11.14:44	28.3	79.5	79.6	1007.7	1011.4	65.5	720.0
9	3.4	南	19.7	南	07.13:30	23.6	84.6	84.8	1008.9	1012.6	68.0	788.0
10	2.4	北北西	12.2	西北西	25.12:05	16.5	78.8	79.1	1013.7	1017.6	132.5	920.5
11	2.3	北西	20.7	南南西	20.14:33	12.7	70.5	70.3	1016.7	1020.6	10.0	930.5
12	2.1	北西	16.4	西北西	30.18:44	6.2	65.8	65.8	1013.2	1017.2	7.0	937.5

年間気象状況

(令和2年12月31日現在)

種別 年	平均風速 (m/s)	最多風向 (方位)	最大瞬間			平均気温 (℃)	湿度		気圧		雨量	
			風速 (m/s)	風向 (方位)	起時 (月日・時間)		平均相対 (%)	平均実効 (%)	平均現地 (hPa)	平均海面 (hPa)	月最大 (月・mm)	年積算 (mm)
30	3.2	南南東	39.2	南南東	10/1 01:03	15.8	72.4	72.4	1010.6	1014.5	9月 193.0	876.5
31・R1	2.9	西南西	39.9	北	9/9 04:59	15.8	71.8	71.7	1010.6	1014.4	10月 314.5	1205.5
R2	3.0	北北東	30.3	北北東	4/13 13:57	15.5	74.6	74.6	1010.4	1014.3	6月 146.0	937.5

各署々管轄区域



消防団員階級別・年齢別数

(令和2年4月1日現在) 単位:人

階級 年齢	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
18歳～25歳					2	0		12	14
26歳～30歳				3	3	3	4	18	31
31歳～35歳				4	3	2	3	16	28
36歳～40歳				5	4	7	5	15	36
41歳～45歳			2	3	2	4	5	30	46
46歳～50歳			1	2	4	4	2	27	40
51歳～55歳			3	1	1			13	18
56歳～60歳		2		2	1	1	1	2	9
61歳以上	1	1		1	1		1	2	7
計	1	3	6	21	21	21	21	135	229

消防団員職業構成

(令和2年4月1日現在) 単位:人

農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業
21	1	0	0	50	27	12	13

卸売 小売業 飲食業	金融業 保険業	不動産業	サービス業	公務員	その他	合計
20	6	7	40	19	13	229

消防団員勤続年数

(令和2年4月1日現在) 単位：人

年数	5年未満	5年以上 10年未満	10年以上 15年未満	15年以上 20年未満	20年以上 25年未満	25年以上 30年未満	30年以上 35年未満	35年以上	計
人数	39	51	37	41	34	18	7	2	229

消防団員階級別勤続年数

(令和2年4月1日現在) 単位：人

階級 在職年数	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員	計
1年未満							1	6	7
1年以上 5年未満					3	4	1	24	32
5年以上 10年未満				7	6	3	10	25	51
10年以上 15年未満				7	6	6	1	17	37
15年以上 20年未満			2	5	4	5	3	22	41
20年以上 25年未満					1	2	4	25	32
25年以上 30年未満			2		1	1		14	18
30年以上 35年未満	1	1		2			1	2	7
35年以上		2	2						4
合計	1	3	6	21	21	21	21	135	229

消防団員の年報酬及び出動手当

(令和2年4月1日現在) 単位：円

階級	団長	副団長	方面隊長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬	120,000	88,800	78,000	66,000	48,000	37,000	37,000	36,500
手当			火災の場合	1回につき		7,000円		
			水災の場合	1回につき		7,000円		
			警戒の場合	1回につき		7,000円		
			訓練の場合	1回につき		7,000円		

ただし、1回の出動時間が4時間に満たない場合は、3,500円

消防団車両及び施設等の現況

(令和2年12月31日現在)

方面	区分	車名	年式	ポンプ形式	ポンプ製作所	購入年月	種別	設火の置見・年乾燥月塔	設器置具年置月場
	分団名								
第一方面隊	第1分団	日野	H22	MD260A	森田ポンプKK	H22.11	消防ポンプ自動車	乾 S56.10	S63.11
	第2分団	日産	H27	Fi6000	KKマキタ沼津	H27.2	小型動力ポンプ積載車	—	S56.12
	第3分団	日野	H27	MEI	森田ポンプKK	H28.2	消防ポンプ自動車	乾 H 5.6	S59.12
	第4分団	日産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 9.3	H9.3
第二方面隊	第5分団	日産	H24	Fi6000	KKマキタ沼津	H24.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H15.11	S56.12
	第6分団	日産	H21	Fi6000	KKマキタ沼津	H21.2	小型動力ポンプ積載車	乾 S54.5	H5.12
	第7分団	日産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25.2	小型動力ポンプ積載車	—	S56.12
第三方面隊	第8分団	日産	H29	FF400AS	IHIシバウラ	H29.1	小型動力ポンプ積載車	乾 H16.10	S61.6
	第9分団	日産	H20	P455DAN	KKマキタ沼津	H20.2	小型動力ポンプ積載車	乾 S54.5	S53.5
	第10分団	日産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 3.6	S57.11
第四方面隊	第11分団	日産	H20	Fi6000	KKマキタ沼津	H20.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H12.9	H31.3
	第12分団	日産	H24	Fi6000	KKマキタ沼津	H24.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H13.12	H3.3
	第13分団	日産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22.2	小型動力ポンプ積載車	—	S55.3
第五方面隊	第14分団	日産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H11.6	S55.11
	第15分団	日野	H17	ME-5	森田ポンプKK	H17.10	消防ポンプ自動車	乾 H 3.2	S62.2
	第16分団	日産	H27	Fi6000	KKマキタ沼津	H27.2	小型動力ポンプ積載車	火 S30.3	S58.8
	第17分団	日産	H26	Fi6000	KKマキタ沼津	H26.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H18.10	S57.12
第六方面隊	第18分団	日産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 4.10	S56.12
	第19分団	日産	H25	Fi6000	KKマキタ沼津	H25.2	小型動力ポンプ積載車	—	S58.3
	第20分団	日産	H22	Fi6000	KKマキタ沼津	H22.2	小型動力ポンプ積載車	乾 H 1.12	H2.3
	第21分団	日野	H15	ME-5	森田ポンプKK	H15.10	消防ポンプ自動車	乾 H14.12	H27.6

消防水利の現況

(令和2年4月1日現在) 単位：基

区 分		西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	合 計
消 火 栓		434	321	263	303	1,321
防 火 水 槽 ・ プ ール 等	20m ³ 未満	11	15	9	30	65
	20m ³ 以上 40m ³ 未満	30	25	19	28	102
	40m ³ 以上	112	87	56	34	289
	プール・池	7	6	4	5	22
	小 計	160	133	88	97	478
合 計		594	454	351	400	1,799

※私設消火栓及び私設貯水槽の数も含む。

消防ホース配置状況

(令和2年12月31日現在) 単位：本

署 区 分		西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	合 計
口 径	40mm	12	17	19	9	57
	50mm	70	32	47	36	185
	65mm	106	49	90	55	300
合 計		188	98	156	100	542

消防署緊急車両使用状況

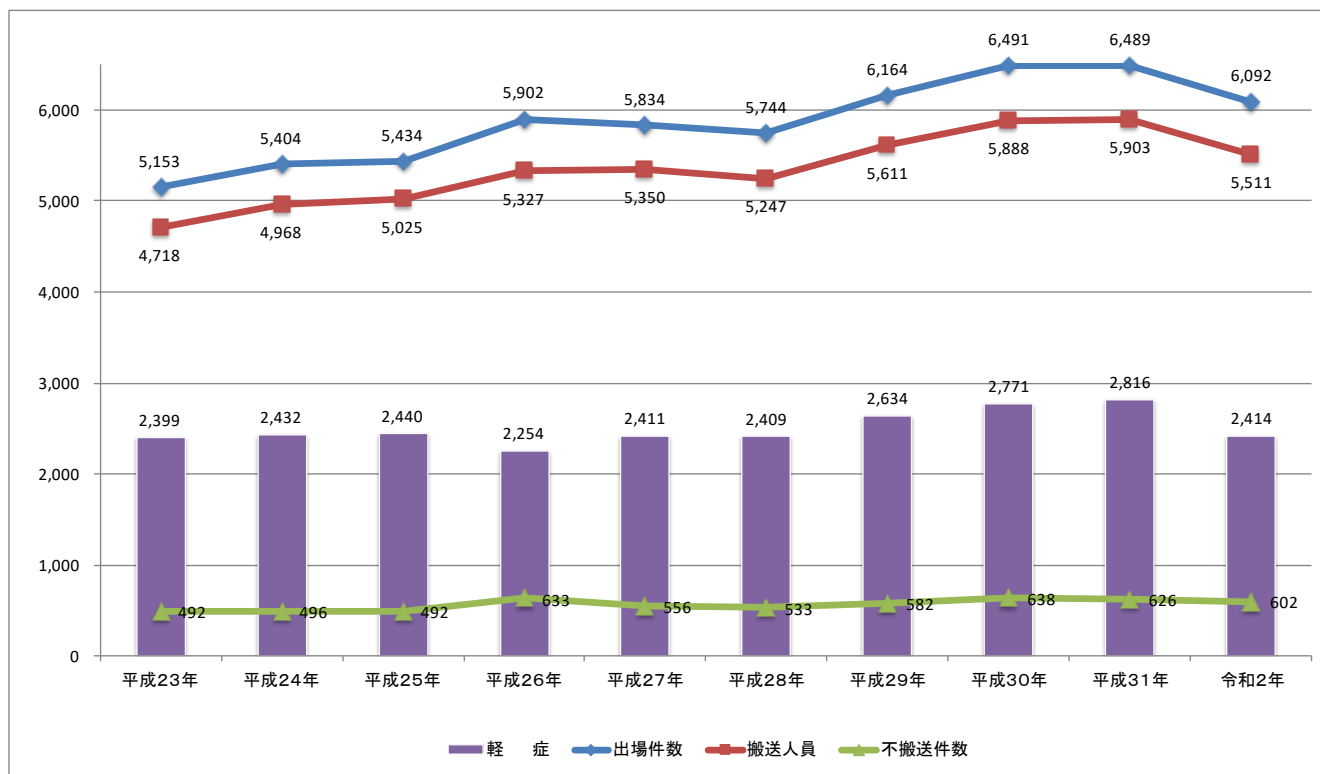
(令和2年12月31日現在)

車名	登年 年月日	経過		配車からの 走行距離 (km)	配車からの 出場総件数 (件)	令和2年 の 走行距離 (km)	令和2年 中の出場・ 出向総件数 (件)	令和2年 中の火災 出場件数 (件)	令和2年 の災害 ポンプ及び PTO使用時分
		年	月						
我孫子指揮1号車	H22.10.19	10	2	46,972	2,858	4,960	274	13	
西署水槽1号車	H15.1.15	17	11	74,705	9,672	3,993	602	10	65時間5分
西署化学1号車	H25.2.18	7	10	25,391	2,129	2,149	187	6	30時間50分
西署救助1号車	H24.1.20	8	11	33,486	2,806	3,239	268	9	23時間20分
西署梯子1号車	H31.3.8	1	9	4,305	183	1,123	93	3	50時間0分
西署資材1号車	H18.6.22	14	6	15,416	971	559	20	0	
西署資材2号車	H23.9.30	9	3	9,937	316	328	24	0	
つくし野水槽1号車	H23.2.15	9	10	39,642	4,825	4,143	632	17(2)	25時間50分
つくし野水槽2号車	H13.2.7	19	10	35,772	3,654	201	26	4	8時間15分
つくし野2号車	H4.1.31	28	11	5,723	434	63	1	0	
東署水槽1号車	H30.2.8	2	10	13,551	1,563	3,886	485(0)	8	18時間15分
東署水槽2号車	H17.12.14	15	0	47,343	6,944	772	66(0)	3	15時間25分
湖北水槽1号車	H15.12.8	17	0	74,995	8,678	4,325	637	11	20時間50分
西署救急1号車	H26.2.12	6	10	115,511	10,018	14,753	1,244		
西署救急2号車	H28.2.2	4	10	76,816	6,324	15,306	1,320		
つくし野救急1号車	H30.12.27	2	0	34,276	2,943	16,030	1,409	1	
東署救急1号車	H24.2.24	7	10	169,255	9,575	19,353	973(0)	0	
湖北救急1号車	H29.1.24	3	11	82,541	5,502	19,085	1,332	5	
西署救急3号車 (予備車)	H19.2.23	13	10	212,690	16,741	3,303	202		
つくし野指令1号車	H30.10.30	2	2	4,649	403	2,000	165	0	
湖北指令1号車	H26.11.19	6	1	19,462	1,388	2,951	184	1	
東指令1号車 (エクストレイル)	R1.11.13	1	1	2,849	131	2,449	116	0	

() は管外への出場件数を示す。

年別救急出場状況

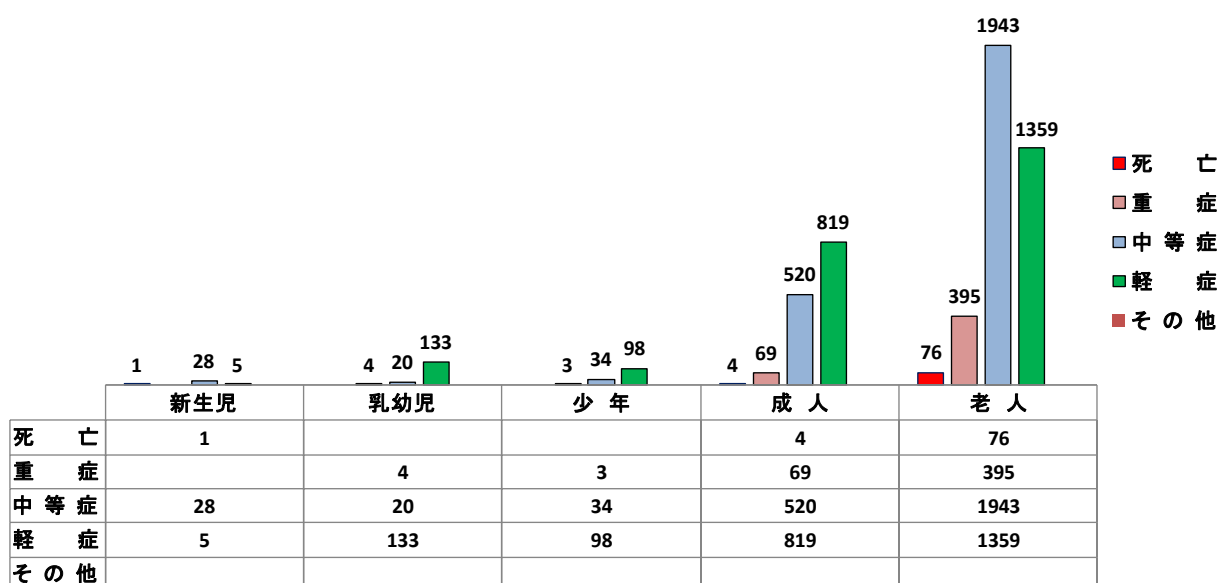
(令和2年12月31日現在)



	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年
出場件数	5,153	5,404	5,434	5,902	5,834	5,744	6,164	6,491	6,489	6,092
搬送人員	4,718	4,968	5,025	5,327	5,350	5,247	5,611	5,888	5,903	5,511
軽 症	2,399	2,432	2,440	2,254	2,411	2,409	2,634	2,771	2,816	2,414
不搬送件数	492	496	492	633	556	533	582	638	626	602

年齢区分別傷病程度別搬送人員状況

(令和2年12月31日現在)

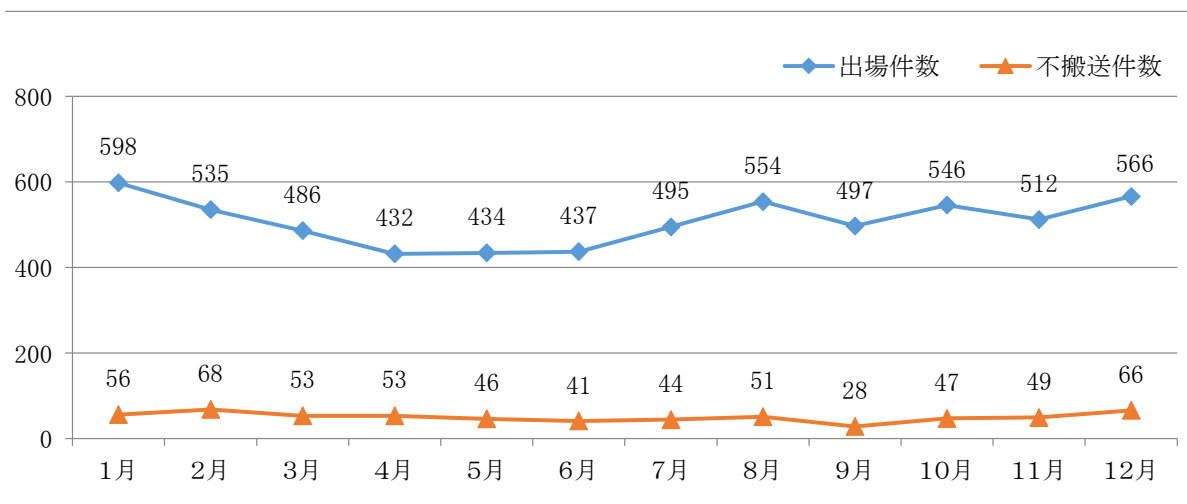


月別救急出場件数及び搬送人員状況

(令和2年12月31日現在)

月別	種別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	その他	計
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病		
1	出場件数				29	2	4	88	4	1	412	58	598
	搬送人員				2			7	1		41	5	56
2	出場件数	2			27	2	3	91	2	3	355	50	535
	搬送人員	2			3			9	1	1	45	7	68
3	出場件数				25	1	1	92	5	3	324	35	486
	搬送人員				3			4	3	1	34	8	53
4	出場件数	2			12	4	1	67	4	4	300	38	432
	搬送人員	1			1			11	1	1	35	3	53
5	出場件数				21	2		72	1	5	301	32	434
	搬送人員				4			4		1	36	1	46
6	出場件数	1			21	3		66	2	1	307	36	437
	搬送人員	1			4			8			23	5	41
7	出場件数	2			14	4	1	82	1	5	340	46	495
	搬送人員	2			2			7		3	23	7	44
8	出場件数	1			18	4	5	84	1	4	389	48	554
	搬送人員	1			3			7	1		33	6	51
9	出場件数				20	3	1	81		2	347	43	497
	搬送人員				2			2		1	17	6	28
10	出場件数	4			33	2	4	81	3	7	360	52	546
	搬送人員	4			5			5	1	2	26	4	47
11	出場件数	3			34	2	6	84	3	7	331	42	512
	搬送人員	3			2			4	1	2	32	5	49
12	出場件数	1			25	2	1	101	5	6	365	60	566
	搬送人員	1			1			8		2	46	8	66
計	出場件数	16			279	31	27	989	31	48	4,131	540	6,092
	搬送人員	15			32			76	9	14	391	65	602
	搬送人員	2			259	31	27	915	24	34	3,744	475	5,511

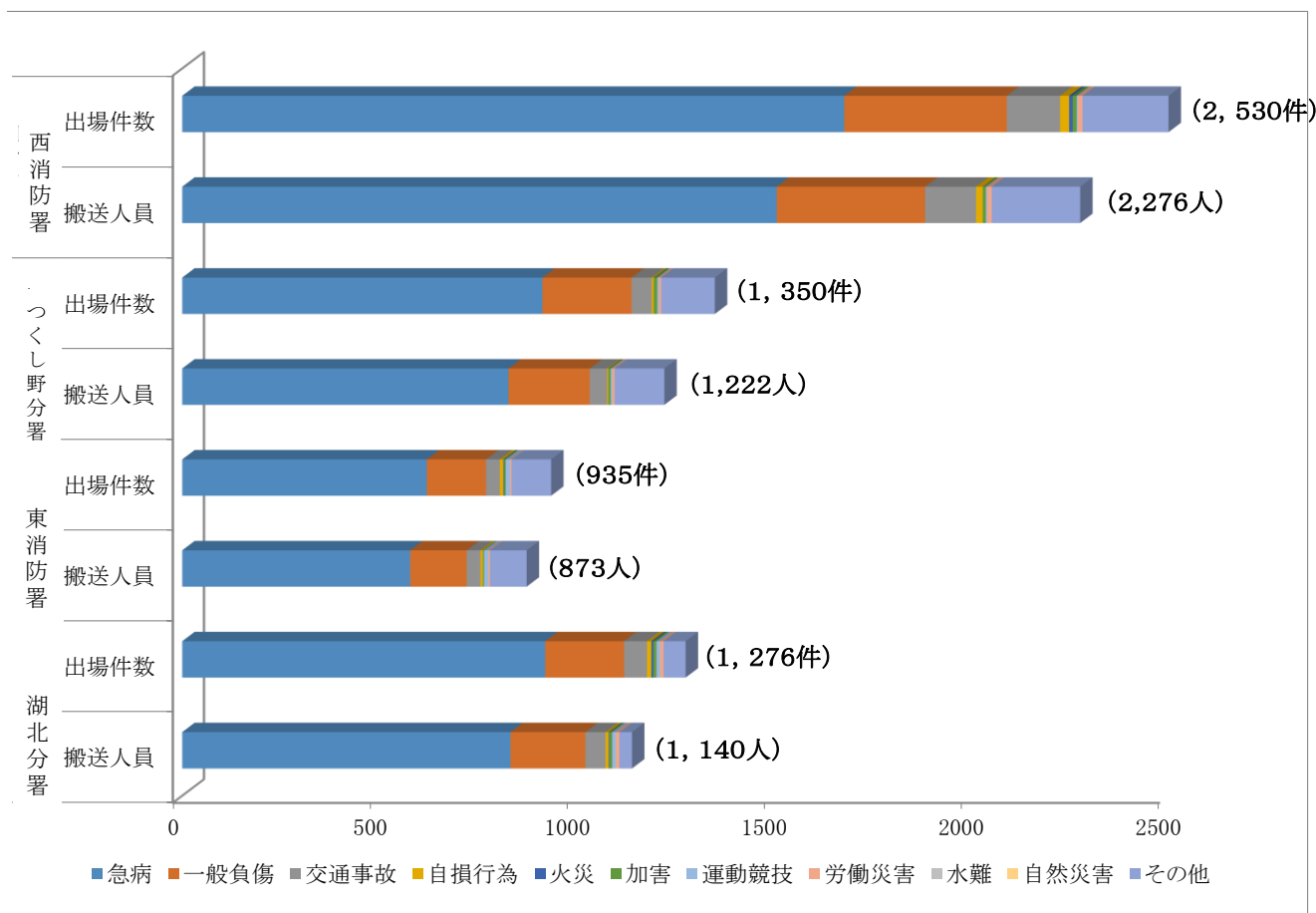
※各月出場件数中の下段は不搬送件数



署別救急出場件数及び搬送人員状況

(令和2年12月31日現在)

種別 署別		火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
		西消防署	出場件数	9			135	12	3	412	10	23	1,678
	搬送人員				129	12	3	376	8	17	1,507	224	2,276
つくし野分署	出場件数				51	6	4	226	9	5	913	136	1,350
	搬送人員				44	6	4	206	6	3	827	126	1,222
東消防署	出場件数	2			35	4	11	150	4	9	620	100	935
	搬送人員				35	4	11	143	3	6	578	93	873
湖北分署	出場件数	5			58	9	9	200	8	11	920	56	1,276
	搬送人員	2			51	9	9	190	7	8	832	32	1,140
合計	出場件数	16	0	0	279	31	27	989	31	48	4,131	540	6,092
	搬送人員	2	0	0	259	31	27	915	24	34	3,744	475	5,511



救急隊員が行った応急処置件数

(令和2年12月31日現在)

事故種別 応急処置	急病	交通事故	一般負傷	その他	計
対象人員	3,742	258	911	567	5,478
止血	24	10	82	12	128
固定	7	74	59	14	154
人工呼吸	12	0	0	0	12
心肺蘇生	130	4	6	6	146
酸素吸入	715	24	31	143	913
気道確保 (特定行為を除く)	169	5	11	9	194
保温	141	11	20	24	196
被覆	23	59	239	29	350
在宅治療継続	25	0	1	0	26
除細動	10	0	0	0	10
血圧測定	3,550	249	886	546	5,231
心音等の聴取	777	28	75	66	946
血中酸素飽和度	3,613	254	904	560	5,331
心電図測定	2,162	46	182	250	2,640
救命士特定行為 (気道確保・静脈路確保・薬剤投与)	108	4	7	3	122
計	11,466	768	2,503	1,662	16,399

事故種別年齢区分別搬送人員状況

(令和2年12月31日現在)

種別 年齢区分	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
新生児										3	31	34
乳幼児				8			38	1		104	6	157
少年				16		16	22	1		76	4	135
成人	2			141	24	9	138	21	26	951	100	1,412
老人				94	7	2	717	1	8	2,610	334	3,773
計	2			259	31	27	915	24	34	3,744	475	5,511

事故種別傷病程度別搬送人員状況

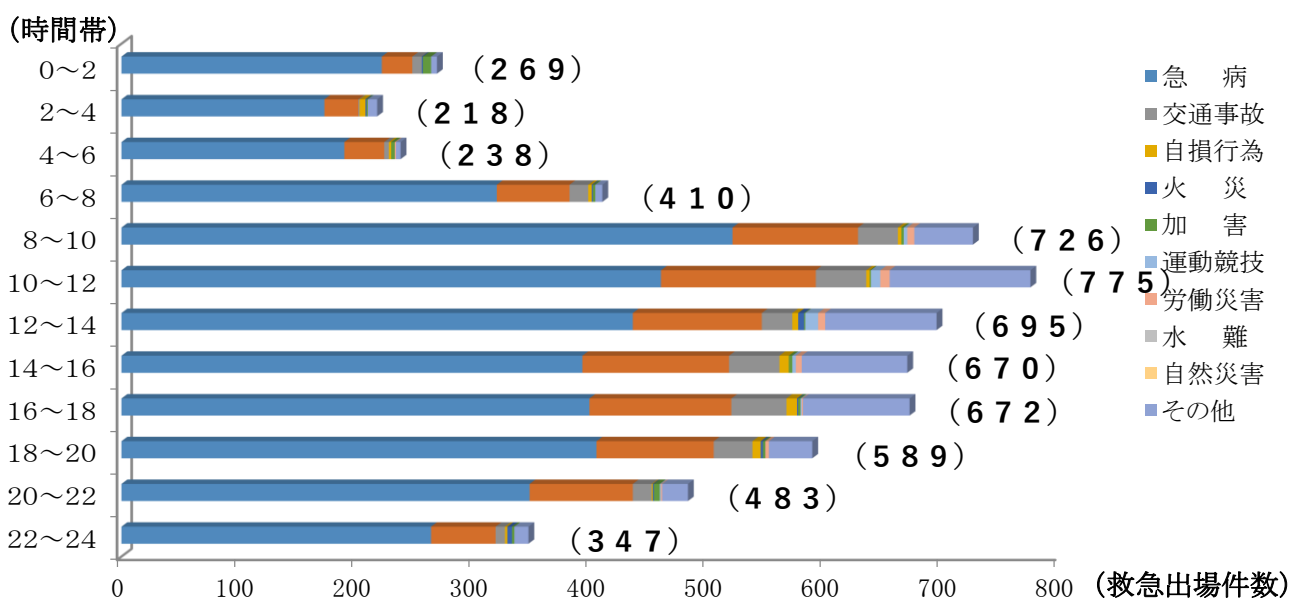
(令和2年12月31日現在)

種別 傷病程度	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	計
死亡				1			2		2	76		81
重症				15	2		63		6	291	94	471
中等症	2			55	12	9	291	4	12	1,828	332	2,545
軽症				188	17	18	559	20	14	1,549	49	2,414
その他												
計	2			259	31	27	915	24	34	3,744	475	5,511

時間別救急出場件数及び搬送人員状況

(令和2年12月31日現在)

時間別	種別	火	自然	水	交通	労働	運動	一般	加	自	急	その	計
		災	災害	難	事故	災害	競技	負傷	害	損行為	病	他	
0～2	出場件数	1			8			26	7		222	5	269
	搬送人員				5			25	4		192	2	228
2～4	出場件数	1			1			29	1	5	173	8	218
	搬送人員							26	1	4	163	5	199
4～6	出場件数				4	1		34	3	2	190	4	238
	搬送人員				4	1		32	3	1	173	3	217
6～8	出場件数	1			16			62	2	3	320	6	410
	搬送人員				15			59	1	2	300	4	381
8～10	出場件数				34	6	3	107	2	3	521	50	726
	搬送人員				36	6	3	104	2	2	492	45	690
10～12	出場件数				43	8	8	132	1	3	460	120	775
	搬送人員				36	8	8	119	1	3	420	116	711
12～14	出場件数	5			26	6	11	110	1	5	436	95	695
	搬送人員				24	6	11	100	1	4	392	90	628
14～16	出場件数				43	5	3	125	3	8	393	90	670
	搬送人員				44	5	3	118		5	344	81	600
16～18	出場件数	1			47	1	1	121	2	9	399	91	672
	搬送人員				43	1	1	111	1	6	370	81	614
18～20	出場件数	2			33	3		100	2	7	405	37	589
	搬送人員				30	3		92	2	5	356	25	513
20～22	出場件数	1			16	1	1	88	5	1	348	22	483
	搬送人員				14	1	1	79	7	1	305	16	424
22～24	出場件数	4			8			55	2	2	264	12	347
	搬送人員	2			8			50	1	1	237	7	306
計	出場件数	16	0	0	279	31	27	989	31	48	4,131	540	6,092
	搬送人員	2	0	0	259	31	27	915	24	34	3,744	475	5,511



救急業務累年比較表

(令和2年12月31日現在)

年 別	出 場 件 数	増 減 率	搬 送 件 数	増 減 率	搬 送 人 員	増 減 率
昭和49年	1,065	6.1%	995	4.2%	1,060	1.4%
50年	1,162	9.1%	1,086	9.1%	1,149	8.4%
51年	1,206	3.8%	1,132	4.2%	1,215	5.7%
52年	1,272	5.5%	1,185	4.7%	1,249	2.8%
53年	1,450	14.0%	1,361	14.9%	1,349	8.0%
54年	1,491	2.8%	1,387	1.9%	1,349	0.0%
55年	1,630	9.3%	1,548	11.6%	1,528	13.3%
56年	1,635	0.3%	1,561	0.8%	1,539	0.7%
57年	1,608	-1.7%	1,518	-2.8%	1,502	-2.4%
58年	1,620	0.7%	1,547	1.9%	1,552	3.3%
59年	1,561	-3.6%	1,468	-5.1%	1,552	0.0%
60年	1,645	5.4%	1,554	5.9%	1,641	5.7%
61年	1,647	0.1%	1,552	-0.1%	1,623	-1.1%
62年	1,738	5.5%	1,654	6.6%	1,743	7.4%
63年	1,801	3.6%	1,682	1.7%	1,796	3.0%
平成元年	1,933	7.3%	1,829	8.7%	1,936	7.8%
2年	1,975	2.2%	1,857	1.5%	1,966	1.5%
3年	2,031	2.8%	1,915	3.1%	2,049	4.2%
4年	2,143	5.5%	2,020	5.5%	2,183	6.5%
5年	2,089	-2.5%	1,993	-1.3%	2,117	-3.0%
6年	2,209	5.7%	2,075	4.1%	2,217	4.7%
7年	2,486	12.5%	2,331	12.3%	2,446	10.3%
8年	2,505	0.8%	2,366	1.5%	2,468	0.9%
9年	2,583	3.1%	2,405	1.6%	2,510	1.7%
10年	2,773	7.4%	2,602	8.2%	2,680	6.8%
11年	3,142	13.3%	2,914	12.0%	3,031	13.1%
12年	3,404	8.3%	3,189	9.4%	3,335	10.0%
13年	3,462	1.7%	3,181	-0.3%	3,286	-1.5%
14年	4,031	16.4%	3,717	16.9%	3,857	17.4%
15年	4,268	5.9%	3,873	4.2%	4,003	3.8%
16年	4,250	-0.4%	3,878	0.1%	3,979	-0.6%
17年	4,674	10.0%	4,210	8.6%	4,284	7.7%
18年	4,656	-0.4%	4,236	0.6%	4,308	0.6%
19年	4,706	1.1%	4,265	0.7%	4,306	0.0%
20年	4,561	-3.1%	4,113	-3.6%	4,154	-3.5%
21年	4,622	1.3%	4,187	1.8%	4,242	2.1%
22年	4,770	3.2%	4,335	3.5%	4,390	3.5%
23年	5,153	8.0%	4,661	7.5%	4,718	7.5%
24年	5,404	4.9%	4,908	5.3%	4,968	5.3%
25年	5,434	0.6%	4,942	0.7%	5,025	1.1%
26年	5,902	8.6%	5,269	6.6%	5,327	6.0%
27年	5,834	-1.2%	5,278	0.2%	5,350	0.4%
28年	5,744	-1.5%	5,211	-1.3%	5,247	-1.9%
29年	6,164	7.3%	5,582	7.1%	5,611	6.9%
30年	6,491	5.3%	5,853	4.9%	5,888	4.9%
31年	6,489	0.0%	5,863	0.2%	5,903	0.3%
令和2年	6,092	-6.1%	5,490	-6.4%	5,511	-6.6%

我孫子市内公共施設 A E D 設置場所

(令和2年12月31日現在)

地区		施設名	設置数
我孫子地区	1	我孫子市役所 本庁	2
	2	我孫子市役所 議会棟	1
	3	我孫子市役所 東別館	1
	4	我孫子市役所 西別館	1
	5	生涯学習センター「アビスタ」	1
	6	けやきプラザ	3
	7	我孫子南近隣センター(けやきプラザ内)	1
	8	西消防署	1
	9	あびこ市民プラザ	1
	10	西部福祉センター	1
	11	根戸小学校	1
	12	我孫子第一小学校	1
	13	我孫子第四小学校	1
	14	我孫子第四小学童保育室	1
	15	久寺家中学校	2
	16	白山中学校	1
	17	水道局	1
	18	我孫子北近隣センター(並木本館)	1
	19	我孫子北近隣センター(つくし野分館)	1
	20	根戸近隣センター	1
	21	久寺家近隣センター	1
	22	並木小学校	1
	23	寿保育園	1
	24	つくし野保育園	1
	25	つくし野多目的広場	1
	26	白樺文学館	1
	27	杉村楚人冠記念館	1
	28	アビシルバ	1
	29	根戸福祉センター	1
	30	我孫子高等技術専門学校	1
	31	県立我孫子高等学校	3
天王台地区	32	我孫子中学校	2
	33	我孫子第三小学校	1
	34	我孫子第三小学童保育室	1
	35	我孫子第二小学校	1
	36	我孫子第二小学童保育室	1
	37	高野山小学校	1
	38	高野山小学童保育室	1
	39	近隣センターこもれび	1
	40	天王台北近隣センター	1
	41	すくすく広場	1

地区		施設名	設置数	
天王台地区	42	天王台行政サービスセンター	1	
	43	我孫子警察署	1	
	44	移動交番所(我孫子警察署)	1	
湖北地区	45	手賀沼親水広場 水の館	1	
	46	鳥の博物館	1	
	47	湖北地区公民館	1	
	48	老人福祉センターつつじ荘	1	
	49	市民体育館	3	
	50	湖北中学校	1	
	51	保健センター	1	
	52	市民図書館湖北台分館	1	
	53	湖北小学校	1	
	54	湖北台西小学校	1	
	55	湖北台中学校	1	
	56	湖北台東小学校	1	
	57	湖北台近隣センター	1	
	58	湖北台保育園	1	
	59	クリーンセンター	1	
	60	休日診療所	1	
	61	湖北行政サービスセンター	1	
	62	湖北特別支援学校	1	
	63	我孫子高校野球場	1	
	新木地区	64	新木近隣センター	1
		65	新木小学校	1
		66	新木小学童保育室	1
		67	我孫子あらき園	1
		68	我孫子市こども発達センター	1
		69	障害者福祉センター	1
		70	新木行政サービスセンター	1
		71	県立我孫子特別支援学校	1
	布佐地区	72	市民図書館布佐分館	1
		73	布佐中学校	1
		74	東消防署	1
75		布佐南小学校	1	
76		布佐小学校	1	
77		近隣センターふさの風	1	
78		布佐南近隣センター	1	
79		布佐行政サービスセンター	1	
80		県立我孫子東高等学校	2	
81		手賀沼終末処理場	3	

配備数：81施設 93台

我孫子市内ドクターヘリ着陸ポイント

小学校	番号	着陸ポイント
小学校	1	根戸小学校
	2	我孫子第三小学校
	3	我孫子第一小学校
	4	高野山小学校
	5	湖北台西小学校
	6	湖北台東小学校
	7	湖北小学校
	8	新木小学校
	9	布佐南小学校

中学校	番号	着陸ポイント
中学校	10	久寺家中学校
	11	我孫子中学校
	12	湖北台中学校
公園	13	手賀沼公園
	14	湖北台中央公園
	15	利根川ゆうゆう公園
	16	布佐南公園
	17	五本松運動広場

月別曜日別 救助出動状況

(令和2年12月31日現在)

事故種別 月・曜日別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故 等	風 水 害 事 故 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
1		1					3				4
2							3			1	4
3							3			3	6
4		1					1				2
5							1				1
6		1					2			2	5
7		1	1							1	3
8							4			3	7
9			1				2			4	7
10		1					1			4	6
11		1	1				6			2	10
12							4			3	7
計		6	3				30			23	62
月曜日							6				6
火曜日		2	1				6			6	15
水曜日		1					5			4	10
木曜日							4			4	8
金曜日		2					3			3	8
土曜日		1	1				5			3	10
日曜日			1				1			3	5

時間別・救助出動状況

(令和2年12月31日現在)

事故種別 時間別	火 災	交 通 事 故	水 難 事 故	自 然 災 害 事 故 等	風 水 害 事 故 等	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び 酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	計
0～1										1	1
1～2											
2～3							1				1
3～4											
4～5											
5～6											
6～7		1								1	2
7～8										1	1
8～9											
9～10		1					1			3	5
10～11							4			2	6
11～12							1				1
12～13		1	1				3			1	6
13～14							1			1	2
14～15										5	5
15～16							5				5
16～17		2					2			1	5
17～18		1	1				5			2	9
18～19							1			2	3
19～20							3			1	4
20～21							2				2
21～22										2	2
22～23							1				1
23～24			1								1
計		6	3				30			23	62

事故種別・発生場所別 出動件数

(令和2年12月31日現在)

事故種別 発生場所		火	交	水	自	風	機	建	ガ	破	そ	計
		災	通	難	然	水	械	物	ス	裂	の	
		災	故	故	災	害	による	等による	及び	事	他の	
					害	事	事故	による	酸	故	事故	
					害	等		事故	欠			
					事				事			
					故				故			
屋内	住居							29			16	45
	その他の屋内											
屋	道	高速道路										
		その他の道路		5								5
外	水	内水面			3						1	4
		外水面										
外	山岳											
	その他の屋外		1					1			5	7
地下												
その他											1	1
計			6	3				30			23	62

事故種別・発生場所別 救助人員数

(令和2年12月31日現在)

事故種別 発生場所		火	交	水	自	風	機	建	ガ	破	そ	計
		災	通	難	然	水	械	物	ス	裂	の	
		災	故	故	災	害	による	等による	及び	事	他の	
					災	事	事故	による	酸	故	事故	
					害	等			欠			
					事				事			
					故				故			
屋内	住居							18			1	19
	その他の屋内											
屋	道	高速道路										
		その他の道路		5								5
外	水	内水面			1							1
		外水面										
外	山岳											
	その他の屋外		1					1			4	6
地下												
その他											1	1
計			6	1				19			6	32

救助機械器具等保有状況

(令和2年12月31日現在)

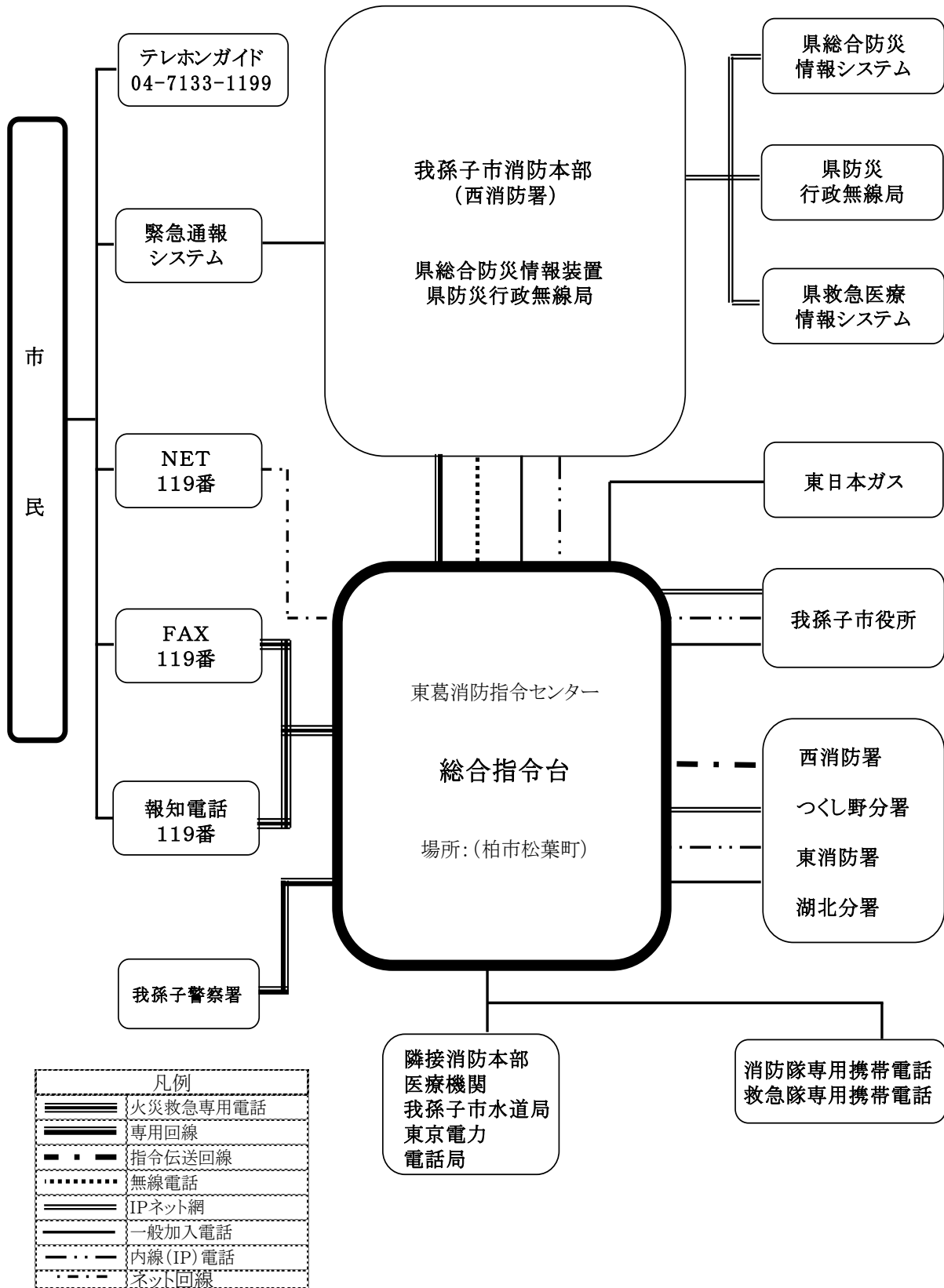
分類	一般救助用器具							重量物排除用器具					切断用器具							
名称	かぎ付はしご	三連はしご	ワイヤーはしご	空気式救助マット	救命索発射銃	救助用縛帯	平担架	油圧ジャッキ	油圧スプレッダー	可搬式ウインチ	空気ジャッキ(マット型)	チェーンブロック	大型油圧切断機	エンジンカッター	ガス溶断器	チェーンソー	鉄線カッター	鉄筋カッター	空気鋸	空気式切断機
消防全体保有数	7	7	1	1	1	4	2	3	3	4	1	1	2	8	1	8	6	2	1	1
救助隊保有数	3	2	1	1	1	3	2	3	3	4	1	1	2	2	1	2	3	2	1	1

分類	破壊用器具			検知・測定用器具			空気保護用器具				隊員保護用器具									
名称	万能斧	ハンマー	ハンマードリル	削岩機	可燃性測定器	有毒ガス測定器	酸素濃度測定器	空気呼吸器	酸素呼吸器	送排風器	エアライン	耐電手袋	耐電衣	耐電ズボン	耐電長靴	耐熱服	陽圧式化学防護服	防塵マスク	防塵メガネ	放射線防護服
消防全体保有数	14	8	1	2	8	8	8	34	0	4	0	12	12	12	10	2	5	45	120	5
救助隊保有数	6	2	1	2	3	3	3	10	0	3	0	5	5	5	5	2	5	29	26	5

分類	除染用器具		水難救助用器具					山岳救助用器具		その他の救助用器具									
名称	除染シャワー	除染剤散布器	救命胴衣	救命浮環	救命ボート	船外機	水中テレビカメラ	バスケット型担架	投光器	携帯用拡声器	携帯用無線機	携帯用投光器	携帯警報器	救急処置用セット	緩降機	ロープ登降機	簡易画像探査機	車両移動器具	
消防全体保有数	2	2	25	4	7	4	0	2	9	15	34	30	10	6	1	0	1	4	
救助隊保有数	2	2	12	3	2	3	0	2	3	7	3	11	6	2	1	0	1	1	

消防通信系統図

(令和2年4月1日 現在)



東葛消防指令センター回線状況

回線名	火災・救急(119番)			専用線	広域 イーサネット	一般加入電話				
	報知電話	携帯119	衛星電話			転送回線	順次指令	台収容	テレホガイド	その他
数量	10	6	4	1	2	4	2	4	3	2

東葛消防指令センター施設概要

(令和2年4月1日現在)

施設名	数	施設の内容
指令装置(Ⅲ型)	1	119番通報の受付、災害通報の覚知、出動車両の自動出動隊編成、出動指令、現場活動支援等を統括する指令管制操作を行う装置。
指令台	5	119番の受付から各居所への通信指令、消防車、救急車の無線通信、医療機関への連絡等出場指令及び支援業務の操作。
自動出動指令装置	1	災害種別等による出動指令、また各種支援情報を各操作上のディスプレイに表示する等、指令システムの自動化を推進する装置。
地図等検索装置	1	災害地点決定のための地図検索、地図情報及び支援情報の表示。
長時間録音装置	1	119番通報、音声指令、無線通信等を時刻信号と共に自動及び手動制御で録音。
非常用指令設備	1	指令施設のシステムダウン時の119番受付、出場指令及び業務の受付補助。
指令制御装置	1	119番受付、指令放送との音声回路の接続制御を行うための通信系主操作。
携帯電話・IP電話受信転送装置	1	携帯電話通報、IP電話通報の緊急通報により、転送および転送受信ができるものであって、同時に発信者番号、電話事業者コード等を転送及び転送受信する。
署所端末装置	15 (4)	署所に設置されたもので、居所端末装置と連動して無線指令を受令通話・車両運用状況の設定入力及び表示。
指揮台	1	各指令台の事案監視及び作戦台として直接指令及び応答を行う。
車両運用表示盤	1	車両動態管理装置と連動し、消防車、救急車等の車両の運用状況を表示。
支援時報表示盤	1	119番着信、火災、救急及び救助等の発生件数並びに気象情報及び気象警報・注意報等の表示。
多目的情報表示盤	1	自動出動指定装置画面、地図等検索装置両面及び消防情報支援装置両面等の表示。
無線統制台	1	基地局無線を遠隔操作し、各無線回線に対し必要な情報を送信する。
指令伝送装置	1	自動出動指定装置で決定した出動指令内容を専用回線を介して居所の指令情報出力装置に送信。
指令情報送信装置	1	出場指令のデータを伝送信号に変換し指令操作と連動して指令情報を居所・消防車両等へ電送。
指令情報出力装置	15 (4)	指令電送送信装置からの受信情報を出場指令書として出力及び出場該当地図を検索表示。
居所間ネットワーク機器(居所側)	15 (4)	指令時報を受信する為の通信装置。
気象情報収集装置	2	各種気象センサー(風向、風速、気温、湿度、気圧及び雨量)からの観測データを所要のデータとして記録計及び総合情報表示盤に出力。
災害状況等自動案内装置	2	加入電話による住民からの災害等の問い合わせに対して、自動的に応答して災害などの案内を行う。(代表04-7133-1199)
順次指令装置	1	登録した指令先に電話、Eメールを使用して災害情報を通報する。

※()内の数は、東葛消防指令センター施設数の内、我孫子市に設置されている数

(令和2年4月1日現在)

施設名	数	施設の内容
音声合成装置	1	指令内容、災害案内の音声テキストを作成して、音声出力が出来る。
出動車両運用管理装置	1	消防車及び救急車の車両端末装置から受信した車両動態表示を車両運用表示盤へ表示するとともに指令内容を車両端末装置に表示。
管理装置	1	登録された車両動態情報を自動出動指定装置に通知でき、その情報をディスプレイや車両運用表示盤に表示。
車両運用端末装置	63 (15)	車両運用端末装置を一体化した大型ディスプレイ部を備え、カーロケーション機能等により、適切な災害地点の把握が出来る。
車外設定端末装置	34 (6)	災害活動の際に車外からの放水開始、放水停止等6動態以上の登録を可能とし、消防車両の無線機用ハンドセット外部収容箱に設置でき防滴構造。
システム監視装置	1	システム関連の稼動状況を監視するもので、異常が発生した場合、即座にシステム異常を検知しアラーム出力が出来る。
電源設備	1	指令システムの各装置の電源を一元的に管理して、安全性に十分配慮した構造を有し、かつ配置されるもの。
無停電電源装置	1	交流100Vにて作動する各装置に安定した電源を供給するもので、商用電源の瞬断及び停電補償のための蓄電池設備。
無停電電源装置 (署所用)	15 (4)	署所に設置する指令情報出力装置(指令書プリンタ含む)、指令センターと署所を接続するネットワーク機器等のAC100Vで操作する各装置へ電源を供給するための装置。
直流電源装置 (12V系)	1	蓄電池を内蔵して、停電時(標準で5時間以上の停電)でも安定した電流を供給できる装置。(DC12V系)
直流電源装置 (48V系)	1	蓄電池を内蔵して、停電時(標準で5時間以上の停電)でも安定した電流を供給できる装置。(DC48V系)
直流電源装置 (署所用)	15 (4)	署所端末への直流電源を供給する装置。
非常用発動発電機 (指令センター用)	1	指令センターの長時間停電対策として、指令管制システム全体の電源を供給する発動発電機。
非常用発動発電機 (署所用)	11 (3)	署所の長時間停電対策として、指令装置の署所端末に交流電源を供給する発動発電機。
発信地表示装置	1	119番通報電話の電話番号、設置場所、設置者氏名を照会端末に検索表示。
消防用高所監視装置	1	初動体制等の迅速化を図り、また遠隔地を撮像することで広範囲の監視を行う。
指令台用支援ディスプレイ	7	各種支援情報関連を検索表示。
無線指令受付装置	15 (4)	署所端末に接続される指令回線(有線回線)が不通となった場合、自動的に無線回線に切替、出動指令を放送。
無線機受令機	15 (4)	署所に設置されたもので、署所端末装置と連動して無線指令を受令又は指令回線障害時署所端末装置に自動接続し拡声。
駆込通報装置	15 (4)	署所が出動等により無人となった場合の駆込み通報に対して、受話器を持ち上げるだけで自動的に指令センターに通報できる。
放送設備	1	庁舎内のスピーカーより指令放送ができるものとし、指令台の操作によりスピーカーを選択し放送ができる。

※()内の数は、東葛消防指令センター施設数の内、我孫子市に設置されている数

無線局配置状況（デジタル無線・署活動系無線）

（令和2年12月31日現在）

配置場所 装置種類	消防本部			協議会	西消防署		東消防署		計
	総務課	予防課	警防課	指令センター	西消防署	つくし野分署	東消防署	湖北分署	
遠隔制御装置					1				1
卓上型半固定局				1	1	1	1	1	5
可搬型移動局			1		1				2
車載型移動局	1	1	1		10	3	4	2	22
携帯型移動局	1	1	4		12	5	6	5	34
署活動用無線機			12		19	6	8	6	51
計	2	2	18	1	44	15	19	14	115

無線局一覧表(デジタル無線)

(令和2年12月31日現在)

免許人名 我孫子市 無線局の目的 消防用 基地局 1装置 陸上移動局 63装置

区分	基地局	呼出名称	えんせいあびこしょうぼう	無線機種別	遠隔制御装置	配置	西消防署
----	-----	------	--------------	-------	--------	----	------

区分	陸上移動局						
----	-------	--	--	--	--	--	--

消防本部 半固定型0 可搬型1 車載型3 携帯型6

呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置
あびこほんぶ501	可搬型	本部			
あびこしらい1	車載型	指令1号車	あびこしえん1	車載型	マイクロバス
あびこしらい2	車載型	指令2号車			
あびこほんぶ101	携帯型	本部	あびこほんぶ104	携帯型	本部
あびこほんぶ102	携帯型	本部	あびこほんぶ105	携帯型	本部
あびこほんぶ103	携帯型	本部	あびこほんぶ106	携帯型	本部

指令センター 半固定型1 可搬型0 車載型0 携帯型0

呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置
あびこしらい501	半固定型	指令センター			

西消防署 半固定型1 可搬型1 車載型10 携帯型12

呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置
あびこにし501	半固定型	西消防署	あびこしき501	可搬型	指揮隊
あびこしき1	車載型	指揮車	あびこにしきゆうきゆう1	車載型	救急1号車
あびこにしすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこにしきゆうきゆう2	車載型	救急2号車
あびこにしかがく1	車載型	化学1号車	あびこにしきゆうきゆう3	車載型	救急3号車
あびこにしきゆうじょ1	車載型	救助1号車	あびこしざい1	車載型	資材1号車
あびこにしはしご1	車載型	梯子1号車	あびこしざい2	車載型	資材2号車
あびこしき101	携帯型	指揮隊	あびこにしすいそう101	携帯型	警防隊
あびこしき102	携帯型	指揮隊	あびこにしかがく101	携帯型	特別救助隊
あびこにし101	携帯型	西消防署	あびこにしきゆうじょ101	携帯型	特別救助隊
あびこにし102	携帯型	西消防署	あびこにしはしご101	携帯型	特別救助隊
あびこにし103	携帯型	西消防署	あびこにしきゆうきゆう101	携帯型	救急隊
あびこにし104	携帯型	西消防署	あびこにしきゆうきゆう201	携帯型	救急隊

つくし野分署 半固定型1 可搬型0 車載型3 携帯型5

呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置
あびこつくしの501	半固定型	つくし野分署			
あびこつくしのすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこつくしのきゆうきゆう1	車載型	救急1号車
あびこつくしのすいそう2	車載型	水槽2号車			
あびこつくしの101	携帯型	つくし野分署	あびこつくしのすいそう101	携帯型	警防隊
あびこつくしの102	携帯型	つくし野分署	あびこつくしのきゆうきゆう101	携帯型	救急隊
あびこつくしの103	携帯型	つくし野分署			

東消防署 半固定型1 可搬型0 車載型4 携帯型6

呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置
あびこひがし501	半固定型	東消防署			
あびこひがしすいそう1	車載型	水槽1号車	あびこひがしきゆうきゆう1	車載型	救急1号車
あびこひがしすいそう2	車載型	水槽2号車	あびこひがししらい1	車載型	指令1号車
あびこひがし101	携帯型	東消防署	あびこひがしすいそう101	携帯型	警防隊
あびこひがし102	携帯型	東消防署	あびこひがしすいそう102	携帯型	警防隊
あびこひがし103	携帯型	東消防署	あびこひがしきゆうきゆう101	携帯型	救急隊

湖北分署 半固定型1 可搬型0 車載型2 携帯型5

呼出名称	無線機種別	配置	呼出名称	無線機種別	配置
あびここほく501	半固定型	湖北分署			
あびここほくすいそう1	車載型	水槽1号車	あびここほくきゆうきゆう1	車載型	救急1号車
あびここほく101	携帯型	湖北分署	あびここほくすいそう101	携帯型	警防隊
あびここほく102	携帯型	湖北分署	あびここほくきゆうきゆう101	携帯型	救急隊
あびここほく103	携帯型	湖北分署			

無線局一覧表（署活動系無線）

（令和2年12月31日現在）

区分	陸上移動局	無線機種別	署活動用	51
消防本部		署活動用 12		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこほんぶ11	警防課	あびこけいぼう11	警防課	
あびこほんぶ12	警防課	あびこけいぼう12	警防課	
あびこほんぶ13	警防課	あびこけいぼう13	警防課	
あびこほんぶ14	警防課	あびこけいぼう14	警防課	
あびこほんぶ15	警防課	あびこけいぼう15	警防課	
		あびこけいぼう16	警防課	
		あびこけいぼう17	警防課	
西消防署		署活動用 19		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこしき11	指揮隊	あびこきゅうじょ11	特別救助隊	
あびこしき12	指揮隊	あびこきゅうじょ12	特別救助隊	
あびこしき13	指揮隊	あびこきゅうじょ13	特別救助隊	
あびこしき14	指揮隊	あびこきゅうじょ14	特別救助隊	
あびこしき15	指揮隊	あびこきゅうじょ15	特別救助隊	
あびこにし11	警防隊	あびこきゅうじょ16	特別救助隊	
あびこにし12	警防隊	あびこにしきゅうきゅう11	救急隊	
あびこにし13	警防隊	あびこにしきゅうきゅう12	救急隊	
あびこにし14	警防隊	あびこにしきゅうきゅう21	救急隊	
		あびこにしきゅうきゅう22	救急隊	
つくし野分署		署活動用 6		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこつくしの11	警防隊	あびこつくしのきゅうきゅう11	救急隊	
あびこつくしの12	警防隊	あびこつくしのきゅうきゅう12	救急隊	
あびこつくしの13	警防隊			
あびこつくしの14	警防隊			
東消防署		署活動用 8		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびこひがし11	警防隊	あびこひがしきゅうきゅう11	救急隊	
あびこひがし12	警防隊	あびこひがしきゅうきゅう12	救急隊	
あびこひがし21	警防隊			
あびこひがし22	警防隊			
あびこひがし23	警防隊			
あびこひがし24	警防隊			
湖北分署		署活動用 6		
呼出名称	配置	呼出名称	配置	
あびここほく11	警防隊	あびここほくきゅうきゅう11	救急隊	
あびここほく12	警防隊	あびここほくきゅうきゅう12	救急隊	
あびここほく13	警防隊			
あびここほく14	警防隊			

年別内容別 119番等受信回数(過去5年)

(令和2年12月31日 現在)

種別 年別	火 災	救 急	他 災 害	病 院 照 会	試 験 ・ 訓 練	い た ず ら	ま ち が い	そ の 他	合 計
28	31	5,651	140	589	296	32	451	727	7,917
29	44	5,892	175	498	294	14	433	674	8,024
30	42	6,317	220	423	295	12	548	668	8,525
令和元	34	6,426	246	393	286	13	624	734	8,756
令和2	29	6,052	188	295	194	11	578	645	7,992
計	180	30,338	969	2,198	1,365	82	2,634	3,448	33,222

消防の沿革

- 昭和30年 4月 我孫子町・湖北村・布佐町が合併し我孫子町となる。新機構・新組織のもと本部役員を含め908名の消防団が誕生した。旧町村ごとに支団制を敷き3支団22ヶ分団で発足した。
- 昭和32年 4月 消防団機構改革により団長以下620名となった。
- 昭和35年 7月 機構改革により本部役員14名、分団各20名 総数454名となった。
- 昭和36年 9月 常備消防の設置について消防委員会の答申を得、同年12月に敷地(現在地 833㎡)の買収を決定した。
- 昭和37年10月 鈴木式鉄筋コンクリート望楼(33.5m)、一部鉄筋コンクリート木造モルタル2階建庁舎(275.5㎡)の竣工式を行った。
- 昭和37年11月 消防団常備部を設置、部長以下14名、水槽付消防ポンプ自動車1台を以て消防業務を開始した。
- 昭和38年 5月 常備部員を9名採用した。
- 昭和39年 1月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、常備部に配備した。
- 昭和40年 1月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第1分団に配備した。
- 昭和40年 4月 政令指定により消防本部及び署を設置した。また、職員を5名採用し、消防長以下28名の陣容となった。
- 昭和40年 4月 初代消防長に新保衡助氏就任。
- 昭和41年 1月 消防団機構改革により22ヶ分団となった。
- 昭和41年 7月 救急車を1台購入した。職員を5名採用し、8月1日より救急業務を開始した。
- 昭和42年 5月 職員を2名採用した。
- 昭和43年 4月 職員を11名採用した。
- 昭和43年 5月 職員を2名採用した。
- 昭和43年 6月 布佐出張所を開設した。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車を1台配備した。
- 昭和43年10月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、本署に配備した。
- 昭和44年 4月 職員を2名採用した。消防団機構改革により6方面隊22分団、団長以下279名となった。
- 昭和44年12月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第3分団に配備した。
- 昭和45年 4月 職員を12名採用した。
- 昭和45年 5月 湖北出張所を開設した。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車を1台配備した。
- 昭和45年 7月 市制施行に伴い我孫子市消防本部、消防署となった。
- 昭和45年11月 査察広報車を1台購入、本署に配備した。
- 昭和45年12月 日本自動車工業会より救急自動車が1台寄贈された。
- 昭和46年 1月 化学消防ポンプ自動車を1台購入し、本署に配備した。
- 昭和46年 4、5、6月 職員各1名を採用した。
- 昭和46年 6月 日本損害保険協会より消防車が1台寄贈された。
- 昭和46年11月 職員2名を採用した。
- 昭和47年 4月 湖北出張所開設に伴い職員を8名採用した。日産エコー救急車による救急業務を開始した。
- 昭和47年10月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第21分団に配備老朽更新を図った。
- 昭和47年12月 消防本部東側隣地(283.50㎡)を買収した。
- 昭和48年 4月 第2代消防長に橋本貫太郎氏就任。
- 昭和48年 4月 職員を3名採用した。
- 昭和48年11月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第15分団に配備し老朽更新を図った。
- 昭和49年 7月 職員を2名採用した。
- 昭和49年12月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、布佐出張所に配備した。
- 昭和49年12月 日本損害保険協会よりトヨタ2B型救急車が1台寄贈され、本署に配備し老朽更新を図った。
- 昭和50年 2月 第3代消防長に増田吉彌氏就任。
- 昭和50年 2月 30m級はしご自動車を1台購入し、本署に配備した。

昭和50年 7月 消防本部南側空地(1,653.18㎡)を買収決定した。

昭和51年 3月 指揮車を1台購入し、本署に配備した。

昭和51年 4月 職員を2名採用した。

昭和51年 6月 国道拡幅のため本部敷地(108.0㎡)を売却した。

昭和52年10月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新図った。

昭和53年 4月 第4代消防長に村上久氏就任。

昭和53年 4月 つくし野出張所開設に伴い、職員を5名採用した。

昭和53年 6月 消防本部庁舎建設のため南側市道(350.99㎡)を廃道し、本部が譲り受西側に付け替え道路(118.8㎡)を設置した。

昭和53年 7月 つくし野出張所開設。所長以下12名、水槽付消防ポンプ自動車1台を以て業務を開始した。

昭和53年 8月 消防本部庁舎建設に伴い、隣地(346.51㎡)を買収した。

昭和53年11月 水槽付消防ポンプ自動車を2台購入し、本署、つくし野出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和53年12月 救急自動車(2B型)を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和54年 4月 職員を11名採用した。

昭和54年 9月 消防本部庁舎が完成し、9月30日落成式を行った。鉄筋コンクリート造4階建。(延べ床面積2,042㎡総工費3億2千万円)

昭和54年10月 緊急指令装置B型を設置し、専従通信員を置き通信業務を開始した。

昭和54年12月 国道356号線の拡幅のため43.56㎡を県に売却、小型動力ポンプ積載車2台購入し、第9分団、第11分団に配備した。

昭和55年 3月 救急自動車(2B型)を1台購入し、本署に配備した。

昭和55年 4月 職員を12名採用した。消防本部の機構改革により2課制とした。総務課(総務係・通信係)予防課(予防係・消防係)となった。

昭和55年 9月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し、第6分団、第13分団に配備した。

昭和56年 3月 日本損害保険協会より救急自動車(2B型)1台が寄贈され、布佐出張所に配備した。

昭和56年 4月 職員を4名採用した。

昭和56年 7月 消防本部の機構改革により、総務課総務係を総務課庶務係に改めた。

昭和56年 7月 我孫子市行政組織条例施行規則の改正により防災関係業務が総務課庶務係に移管された。

昭和56年 8月 小型動力ポンプ積載車を1台購入し、第12分団に配備した。

昭和56年10月 望楼を解体撤去した。

昭和56年10月 消防ポンプ自動車(BD-I)を1台購入し、第1分団に配備した。

昭和56年11月 小型動力ポンプ積載車を3台購入し、第5分団、第7分団、第18分団に配備した。

昭和57年 4月 職員を9名採用した。

昭和57年 4月～11月 小型動力ポンプ積載車を4台購入し、第4分団、第10分団、第17分団、第19分団に配備した。

昭和57年 7月 職員を1名採用した。

昭和57年10月 つくし野出張所 救急業務を開始した。

昭和57年11月 化学消防ポンプ自動車(II型)を1台購入し、本署に配備した。

昭和57年11月 救急自動車(2B型)を1台購入し、つくし野出張所に配備した。

昭和57年 7月 職員を1名採用した。

昭和58年 4月 職員を4名採用した。

昭和58年 7月 第5代消防長に工藤勲氏就任。

昭和58年 8月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し第2分団、第16分団に配備した。

昭和58年11月 救助工作車を1台購入し、本署に配備した。

昭和59年 8月 第13回全国消防救助技術大会に石井直樹消防士が出場した。

昭和59年10月 消防ポンプ自動車(BD-I型)を1台購入し、第3分団に配備し老朽更新を図った。

昭和59年11月 救急自動車(2B型)を1台購入し、湖北出張所に配備し老朽更新を図った。

昭和60年 4月 職員を6名採用した。

昭和60年11月 小型動力ポンプ積載車を1台購入し、第8分団に配備した。

昭和61年 2月 布佐分署建設のため隣地(2,035.76㎡)を買収決定した。

昭和61年 4月 職員を7名採用した。

- 昭和61年10月 水槽付消防ポンプ自動車（I-A型）を1台購入し、布佐出張所に配備した。
- 昭和62年 4月 布佐分署の開設にあたり、消防本部機構改革により布佐出張所を布佐分署に名称を改め、分署長以下25名、水槽付消防ポンプ自動車2台、救急自動車1台を以て業務を開始した。
- 昭和62年10月 救急自動車（2B型）を1台購入し、本署に配備した。
- 昭和62年12月 水槽付消防ポンプ自動車を1台購入し、布佐分署に配備した。
- 昭和63年 2月 幼年消防クラブ結成。
- 昭和63年 4月 第6代消防長に大井豊氏就任。
- 昭和63年 4月 消防本部に警防課を設け、警防課に通信指令室が編入された。
- 昭和63年 4月 消防本部庁舎東側の土地(97.87㎡)を取得した。
- 昭和63年10月 消防ポンプ自動車（BD-I型）を1台購入し、第21分団に配備した。
- 平成 元年 4月 予防課が予防係、指導係の2係となった。
- 平成 元年 4月 消防音楽隊（20名）を発足させた。
- 平成 元年 4月 職員を2名採用した。
- 平成 元年 7月 職員を2名採用した。
- 平成 元年 8月 日本消防協会よりライトバン1台が寄贈され警防課に配備した。
- 平成 元年12月 水槽付消防ポンプ自動車（1-B型）を1台購入し、湖北出張所に配備した。消防ポンプ自動車（BD-I型）1台を購入し、第15分団に配備更新を図った。
- 平成 2年 2月 小型動力ポンプ（ラビット型）を2台購入し、第10分団及び第19分団に配備した。
- 平成 2年 2月 救急自動車（2B型）を1台購入し、布佐分署に配備した。
- 平成 2年 4月 職員を5名採用した。
- 平成 2年 5月 市制20周年を記念し、千葉県消防音楽隊フェスティバルが本市市民会館で開催された。
- 平成 2年 8月 マイクロバスを1台購入し、防災移動指揮車として本署に配備した。
- 平成 2年11月 水槽付消防ポンプ自動車（1B型）を1台購入し、つくし野出張所に配備した。
- 平成 3年 4月 消防本部機構改革により我孫子市消防署本署を西消防署に、布佐分署を東消防署に、湖北出張所を湖北分署に、つくし野出張所をつくし野分署に名称を改め、1本部2署2分署体制となった。職員を2名採用した。
- 平成 3年10月 救助用ゴムボート1隻及び船外機1台を購入し、西消防署に配備した。
- 平成 3年10月 救助活動用として牽引車（日産サファリ）を1台購入し、西消防署に配備した。
- 平成 3年11月 我孫子市婦人防火クラブがクラブ員142名をもって発足した。
- 平成 3年12月 水槽付消防ポンプ自動車（水1B型）を1台購入し、東消防署に配備した。
- 平成 4年 3月 救急自動車（2B型）を1台購入し、つくし野分署に配備した。
- 平成 4年 3月 東消防署に空気充填室を設置した。
- 平成 4年 4月 職員を2名採用した。
- 平成 4年10月 常備消防発足30周年記念式典を市民会館で開催、「消防30年の歩み」を発刊した。
- 平成 4年11月 完全週休二日制を開始した。
- 平成 4年12月 消防業務のOA化に伴い端末機等を設置し、オンラインシステムによる運用を開始した。
- 平成 5年 3月 化学消防車を1台購入し、西消防署に配備した。
- 平成 5年 4月 第7代消防長に今井敬氏就任。
- 平成 5年 4月 職員を4名採用した。
- 平成 5年 5月 第16回全国消防職員意見発表会に田村秀信消防士が出場した。
- 平成 6年 3月 高規格救急自動車を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。
- 平成 6年 4月 職員を4名採用した。
- 平成 6年 9月 ファイリングシステムを導入した。（消防本部、西消防署、東消防署）
- 平成 7年 6月 軽トラックを2台購入し、つくし野分署及び湖北分署に配備した。
- 平成 7年 7月 普通トラック（ロング）を1台購入し、西消防署に配備した。
- 平成 7年 8月 緊急援助隊の発足（平成7年6月30日）に伴い、消火隊1隊（5名）を県消防長会へ報告、全国消防長会に登録された。
- 平成 8年 4月 第8代消防長に土屋忠男氏就任。
- 平成 8年 4月 職員を5名採用した。
- 平成 8年 7月 第9代消防長に渡辺耕三氏就任。
- 平成 8年 9月 湖北分署の事務室（27.36㎡）を増築した。

平成 9年 1月 準高規格救急自動車1台を購入し、湖北分署に配備した。

平成 9年 2月 ボートトレーラ1台、救助工作車1台を購入し、西消防署に配備した。

平成 9年 4月 職員を4名採用した。

平成 9年 4月 総務課に庶務係、消防係をおき、警防課に救急救助係、通信係をおいた。

平成10年 4月 第10代消防長に林勇氏就任。

平成10年 4月 職員を6名採用した。

平成10年 4月 危険物安全協会と防火協会が統合し防災協会となる。

平成10年10月 音楽隊を休隊とした。

平成11年 2月 梯子車を1台購入し、西消防署に配置老朽更新を図った。

平成11年 3月 準高規格救急車を1台購入し、東消防署に配備老朽更新を図った。

平成11年 3月 指令装置老朽化のため更新し運用開始した。

平成11年 4月 職員を4名採用した。

平成12年 4月 第11代消防長に若泉薫氏就任。

平成12年 4月 職員を5名(内女性1名)採用した。

平成12年 4月 総務課を1係(総務係)とし、警防課通信係を西消防署に配属し通信室とした。

平成13年 4月 職員を5名(内女性2名)採用した。

平成13年10月 牽引車を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成13年10月 高規格救急車を1台購入し東消防署に配備、準高規格救急自動車をつくし野分署に配備した。

平成14年 4月 職員を5名(内女性2名)採用した。

平成15年 1月 水槽付消防ポンプ自動車(水IA型)を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成15年 2月 つくし野分署の仮眠室を新築し、事務室及び待機室の改修を行なった。

平成15年 4月 職員を3名採用した。

平成15年12月 水槽付消防ポンプ自動車(水IA型)を1台購入し、湖北分署に配備老朽更新を図った。

平成16年 4月 第12代消防長に飯合節夫氏就任。

平成16年 8月 指令車を1台購入し、予防課に配備老朽更新を図った。

平成16年12月 貨物自動車を1台購入し、東消防署に配備老朽更新を図った。

平成17年 3月 高規格救急車を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成17年 4月 職員を3名採用した。

平成17年 8月 マイクロバスを1台購入し、本部に配備老朽更新を図った。

平成17年12月 水槽付消防ポンプ車自動車(水IA型)を1台購入し、つくし野分署に配備老朽更新を図った。

平成18年 4月 第13代消防長に田口宏氏就任。

平成18年 4月 職員を2名(内女性1名)採用した。

平成18年 7月 貨物自動車(資材運搬車)を1台購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成19年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、湖北分署に配備老朽更新を図った。

平成19年 4月 第14代消防長に尾高朝雄氏就任。

平成19年 4月 職員を3名採用した。

平成20年 3月 寄付により連絡車(セレナ)を1台、予防課に配備した。

平成20年 4月 第15代消防長に篠原佳治氏就任。

平成20年 4月 職員を8名採用した。

平成20年10月 柏市・我孫子市消防通信指令業務共同運用のため、消防通信指令事務協議会を設置した。

平成21年 2月 高規格救急車を1台購入(一部寄付)し、つくし野分署に配備老朽更新を図った。

平成21年 4月 職員を3名採用した。

平成21年 7月 救助艇を1艇購入し、西消防署に配備老朽更新を図った。

平成21年10月 第16代消防長に海老原孝雄氏就任。

平成21年10月 連絡車(セレナ)を1台購入し、警防課に配備した。

平成22年 2月 小型動力ポンプ積載車を3台購入し、第14分団、第13分団、第20分団に配備老朽更新を図った。

平成22年 4月 高機能消防通信指令システムを整備し、柏市・我孫子市東葛消防指令センターにて消防通信指令業務の運用を開始した。

- 平成22年 4月 職員を6名採用した。
- 平成22年10月 指揮車を購入し、西消防署に配備した。
- 平成22年11月 消防ポンプ自動車（CD-1型）を1台購入し、第1分団に配備老朽更新を図った。
- 平成23年 2月 消防ポンプ自動車（CD-1型）圧縮空気泡消火装置付を1台購入し、東消防署に配備した。
- 平成23年 3月 連絡車（軽ワゴン車）（寄付）を1台消防本部に配備した。
- 平成23年 3月 東日本大震災に伴い、緊急援助隊千葉県隊として救急隊・後方支援隊各1隊を福島県に災害派遣した。（平成23年3月22日から平成23年6月6日まで延べ32名）
- 平成23年 4月 第17代消防長に藤根勉氏就任。
- 平成23年 4月 職員を3名採用した。
- 平成23年 9月 資機材搬送車を1台購入し西消防署に配備した。
- 平成24年 1月 救助工作車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成24年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、東消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成24年 2月 小型動力ポンプ積載車を2台購入し第5分団、第12分団に配備老朽更新を図った。
- 平成24年 3月 音楽隊を廃止した。
- 平成24年 3月 常備消防発足50周年記念標語「子や孫へ・つなぐ防災・我があびこ」を作成した。
- 平成24年 4月 職員を8名採用した。
- 平成24年 6月 連絡車（マーチ）を1台購入し、消防本部に配備した。
- 平成24年11月 常備消防発足50周年記念特別点検・消防フェアを手賀沼公園で実施した。
- 平成25年 2月 常備消防発足50周年式典をけやきプラザで開催した。
- 平成25年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を3台購入し、第7分団、第18分団、第19分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成25年 3月 化学消防自動車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成25年 4月 第18代消防長に豊嶋昇氏就任。
- 平成25年 4月 職員5名を採用した。
- 平成25年 4月 市長より救急消防体制の強化について消防審議会に諮問があった。
- 平成25年 9月 市長諮問について消防審議会の審議結果を答申した。
- 平成25年12月 第3回市議会定例会に救急消防体制の強化に伴う職員定数条例の一部改正を議案として上程、可決され平成28年4月1日までに6名の消防職員増員が図られることとなった。
これにより同日より救急隊を1隊増隊することが決定した。
- 平成26年 2月 高規格救急自動車を1台購入し、西消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成26年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を3台購入し、第4分団、第10分団、第17分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成26年 4月 職員4名を採用した。
- 平成26年 8月 市長より不祥事防止の方策について消防審議会に諮問があった。
- 平成26年11月 市長諮問について消防審議会の審議結果を答申した。
不祥事防止計画「不祥事防止に向けて」を策定した。
- 平成26年11月 消防指令車を1台購入し、湖北分署に配置した。
- 平成27年 2月 小型動力消防ポンプ積載車を2台購入し、第2分団、第16分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成27年 4月 第19代消防長に立澤和弥氏就任。
職員6名を採用した。
- 平成28年 2月 消防ポンプ自動車を1台購入し、第3分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成28年 4月 職員4名を採用した。
西消防署に高規格救急自動車1台を増台配備し、救急隊5隊運用を開始した。
- 平成28年 8月 松戸市、市川市、野田市、習志野市、柏市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ヶ谷市及び浦安市にて通信指令業務共同運用のため、松戸市ほか9市消防指令事務協議会を設置した。
- 平成29年 1月 高規格救急自動車を1台購入、湖北分署に配備し老朽更新を図った。
消防指令車を1台購入、消防本部に配備し老朽更新を図った。
小型動力消防ポンプ積載車を1台購入し、第8分団に配備し老朽更新を図った。
- 平成29年 4月 第20代消防長に寺田美登志氏就任。

職員4名を採用した。

- 平成29年 6月 広報車（プロボックス）を1台購入し、消防本部に配備し老朽更新を図った。
- 平成30年 2月 水槽付き消防ポンプ自動車（CD-1型）を1台購入し、東消防署に配備し老朽更新を図った。
- 平成30年10月 消防指令車を1台購入し、つくし野分署に配置した。
- 平成30年12月 高規格救急自動車を1台購入、つくし野分署に配備し老朽更新を図った。
- 平成31年 1月 広報車（マーチ）を1台購入し、消防本部に配備し老朽更新を図った。
- 平成31年 3月 梯子車を1台購入し、西消防署に配置し老朽更新を図った。
- 平成31年 4月 第21代消防長に深山和義氏就任。
職員7名を採用した。
- 令和 元年11月 消防指令車1台及びボートトレーラー1台を購入、東消防署へは配備し、老朽更新を図った。
- 令和 2年 3月 ボートトレーラー1台を購入、西消防署へ配備し、老朽更新を図った。
- 令和 2年 4月 職員8名を採用した。

歴代消防長

	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	新 保 衡 助	昭和40年 4月1日	昭和48年3月31日
2 代	橋 本 貫太郎	昭和48年 4月1日	昭和50年1月31日
3 代	増 田 吉 彌	昭和50年 2月1日	昭和53年3月31日
4 代	村 上 久	昭和53年 4月1日	昭和58年6月30日
5 代	工 藤 勲	昭和58年 7月1日	昭和63年3月31日
6 代	大 井 豊	昭和63年 4月1日	平成 5年3月31日
7 代	今 井 敬	平成 5年 4月1日	平成 8年3月31日
8 代	土 屋 忠 男	平成 8年 4月1日	平成 8年6月30日
9 代	渡 辺 耕 三	平成 8年 7月1日	平成10年3月31日
10 代	林 勇	平成10年 4月1日	平成12年3月31日
11 代	若 泉 薫	平成12年 4月1日	平成16年3月30日
12 代	飯 合 節 夫	平成16年 4月1日	平成18年3月31日
13 代	田 口 宏	平成18年 4月1日	平成19年3月31日
14 代	尾 高 朝 雄	平成19年 4月1日	平成20年3月31日
15 代	篠 原 佳 治	平成20年 4月1日	平成21年3月31日
16 代	海老原 孝 雄	平成21年10月1日	平成23年3月31日
17 代	藤 根 勉	平成23年 4月1日	平成25年3月31日
18 代	豊 嶋 昇	平成25年 4月1日	平成27年3月31日
19 代	立 澤 和 弥	平成27年 4月1日	平成29年3月31日
20 代	寺 田 美登志	平成29年 4月1日	平成31年3月31日
21 代	深 山 和 義	平成31年 4月1日	

※第16代の4月1日から9月30日までの期間は、同氏が消防長職務代理者として就任していたもの。

歴代消防団長

	氏 名	就 任 年 月 日	退 任 年 月 日
初 代	増 田 政 道	昭和30年 4月 29日	昭和32年 4月 28日
2 代	豊 嶋 幸 治	昭和32年 4月 29日	昭和36年 5月 22日
3 代	佐久間 忠 博	昭和36年 5月 22日	昭和40年 3月 31日
4 代	津 川 道 雄	昭和40年 4月 1日	昭和42年 7月 31日
5 代	村 越 新 男	昭和42年 8月 1日	昭和47年 4月 30日
6 代	今 井 喜美男	昭和47年 5月 1日	昭和51年 3月 31日
7 代	松 島 洋	昭和51年 4月 1日	平成 7年 1月 28日
8 代	飯 田 和 行	平成 7年 2月 8日	平成25年 3月 31日
9 代	吉 田 喜一郎	平成25年 4月 1日	

我孫子市消防年報

(令和2年版)

発行 令和3年5月

編集 我孫子市消防本部総務課

